

消 防 年 報

平 成 2 1 年 版



君津市常備消防発足40周年記念式典（平成 22 年 3 月開催）

君 津 市 消 防 本 部

君 津 市 民 憲 章



豊かな伝統と、明るい未来をもつわたくしたち君津市民は
たがいに手を取りあい、やすらぎのある住みよいまちを
つくるため、この市民憲章を定めます。

- 1 自然を大切にし、水と緑の美しいまちをつくりましょう
- 1 健やかに働き、若さみなぎるまちをつくりましょう
- 1 笑顔といたわりで、心のふれあうまちをつくりましょう
- 1 知性をみがき、薫り高い文化のまちをつくりましょう
- 1 広い視野と英知で、世界に伸びるまちをつくりましょう

は し が き

この年報は、平成 2 1 年中の君津市における主要な消防事情を収録し、
今後の消防行政の合理的な運営と消防力の充実育成に資するとともに、
本市消防の概要を広く一般に紹介するために編集したものであります。

平成 2 2 年 8 月

君 津 市 消 防 本 部

総 括 表

消防本部・消防署	消 防 本 部	S44. 4. 1設置	消 防 自 動 車 通 信 施 設	車 両 種 別	本部 署	分団
	消 防 署 数	1 署		指 揮 車	1	
	指 令 室 数	1 室		大 型 化 学 車	1	
	分 署 数	3 分署		大型高所放水車	1	
	消 防 職 員 数	159 人		泡 原 液 搬 送 車	1	
消防団	分 団 数	45 分団		救 急 車	6	
	団 員 数	942 人		消防ポンプ自動車	5	25
面 積		318.83 km ²		水槽付消防ポンプ自動車	3	
人 口(平成22年4月1日)		89,799 人		小型動力ポンプ付積載車	2	19
世 帯(平成22年4月1日)		36,332 世帯		梯 子 車	1	
予 算	消 防 費 当 初 予 算	1,526,041 千円		救 助 工 作 車	1	
	一般会計に対する構成比	5.4 %		資 機 材 搬 送 車	1	
	市民1人当たりの消防費	16,962 円		人 員 搬 送 車	1	
火 災	火 災 件 数	36 件	消 防 自 動 車 通 信 施 設	そ の 他	8	
	建 物 焼 失 面 積	779 m ²		計	32	44
	死 者	2 人		基地局・前進基地局	2 局	
	損 害 見 積 額	550,382 千円		移動局(車載)	31 局	
救 急	救急出動件数	3,526 件		携 帯 局	40 局	
	搬 送 人 員	3,349 人		1 1 9 番 受 付	34 回線	
救 助	救助出動件数	85 件		テレフォンサービス	13 回線	
	救 出 人 員	64 人				
消 防 水 利	消 火 栓	1,524 基				
	防 火 水 槽	597 基				
	無 蓋 防 火 水 槽	337 基				
	耐震性防火水槽	公設 26 基 私設 12 基				
	そ の 他	37 基				

目 次

【 総 務 】

君津市の沿革	1
消防の歴史	2 ～ 3
君津市消防のあゆみ	4 ～11
位置・地勢	12
消防の組織	13
消防本部事務分掌	14
消防署事務分掌	15
君津市の市勢推移	16
人口・世帯数の推移	16
予算の推移（一般会計）	17
消防予算の推移	17
消防職員の配置状況	18
消防職員の勤続年数	18
消防職員の階級別年齢	19
消防職員の研修状況	20
消防職員の資格取得状況	20
消防職員の表彰	21
消防庁舎の現況	22
消防車両等の配置状況	22～23
応援協定等の締結状況	24～25
消防配置図	26

【 消 防 団 】

消防団員の配置状況	27
消防団受持区域	28～29
消防団員の勤務年数	30
消防団員の報酬・出動手当	30
消防団員の年齢別階級	31
消防団車両配置状況	32～33
消防団員の表彰状況	34

【 予 防 】

消防用設備等設置状況	35
業態別・階層別防火対象物	36
消防用設備等届出受理件数	37
消防法第7条に基づく月別同意件数	38
甲種防火管理者選任等の状況	39
乙種防火管理者選任等の状況	40
防火対象物定期点検制度	41
自主点検報告制度	41
類別危険物製造所等調	42
所在地別危険物施設	43
危険物関係の許可・認可 承認及び各種届出状況	43
京葉臨海南部地区の防災体制	44
消防音楽隊の状況	45

【 警 防 】

出動状況月別一覧表	46
消防隊の平均現着時間及び距離	47
消防水利の現況	48
消防水利数の推移	48
消防水利調査月別実施状況	49
寝たきり老人調査実績	50
寝たきり老人調査結果	50
一人暮らし老人調査実績	51
一人暮らし老人調査結果	51
各種訓練実施状況	52
消防本部・署への視察・見学状況	52
重要警備対象物調査	53
消防資機（器）材の配置状況	54

【 火 災 】	
月別火災発生状況	55
時間帯別火災発生件数	55
火災種別・原因別出火件数	56
曜日別火災発生件数の推移	57
覚知別火災件数	57
火災発生状況の推移	58
建物火災（面積・損害額）の推移	58
火災種別・原因別出火件数の推移	59
月別火災発生件数の推移	60

【 救 急 】	
署別救急活動状況	61
署別・事故種別搬送人員	61
署別救急出動件数及び搬送人員の推移...	62
傷病程度別搬送人員	62
時間帯別救急出動件数	63
月別救急活動状況	64
救急隊員の行った応急処置状況	65
救急救命士の行った救急救命処置内容...	65
救急資格者数	65
救急救命士の病院研修	65
応急手当の普及啓発実施状況	66
救急資器材保有状況	67～68
救急隊の平均現着時間及び距離	68

【 救 助 】	
月別救助出動状況	69
救助隊員としての資格等	69
救助活動状況の推移	70
救助用資器材の整備状況	71
各種訓練実施状況	72

【 通 信 指 令 】	
消防通信施設系統図	73
消防用無線局配置状況	74
覚知別受付状況	75
月別受付状況	75
テレホンガイド利用状況	75
出場指令状況	76
隊別出動件数	76
気象警報・注意報発表等状況	77
君津市防災行政無線運用状況	77
天気日・降雨日数と降雨量の推移	78
気象の状況	78
降雨日数と降雨量の推移	78

総務



君津市の競技「軟式野球」をモチーフにしたチーバくん

君津市の沿革

君津市にいつごろから人類が住み始めたかは明らかではないが、内蓑輪野間木戸・星谷上遺跡から石器が出土していることから、先土器時代にはすでに人類が生活していたと推定される。

4世紀に入ると、大和朝廷の統一が進み、やがて房総の地に新しい波が押しよせてきた。大和政権に服属した房総の小国の王たちは、それぞれの国の支配権を与えられ「国造」となった。「先代旧事本紀」などによれば、房総には11の国造がおかれ、小櫃川流域は馬来田国造、小糸川流域は須恵国造に属し、大和地方の文化が比較的早く到来した地域であったといわれる。

大化の改新（645）により国郡制度が確立し、房総は上総国と下総国に分けられ、本市域は上総国周准郡及び畔蒜郡（のちに望陀郡に併合）に属した。

また、このころ内蓑輪九十九坊台に大寺院が建立され、当地方ではすでに白鳳期において仏教文化が開花していたと推測される。

8世紀になると、公地公民制度が徐々に崩壊し、有力な豪族や社寺は開墾地（荘園）をふやして私有するようになり、本市では周西荘、周東荘、畔蒜荘などが存在したといわれる。荘園の乱立は武士の発生につながり、房総一円は争乱があいつぎ、本市周辺では桓武平氏とその一族の支配下に属したものの、源氏の再興によって源氏の支配下に入ったと考えられる。

中世に至り、当初は武田氏の治めるところであったが、16世紀半ば以降ほとんどが里見氏の所領となり、天正18年（1590）の里見氏の削封後は徳川氏の所領となった。

慶長8年（1603）の江戸幕府創設後は、房総は大半が旗本領と譜代小藩の領地となり、小櫃川流域の小櫃、久留里は譜代大名土屋氏及び黒田氏の治める久留里藩領に、松丘、亀山は川越藩領に属した。一方、小糸川流域は、ほとんどが幕領と旗本領の相給支配が行われていた。

明治維新の後、明治4年（1871）の廃藩置県により、本市域は木更津県の、次いで明治6年には千葉県の所管となった。明治22年（1889）の市制町村制の施行により、八重原村、周西村、貞元村、周南村、中村、小糸村、秋元村、三島村、小櫃村、久留里町、松丘村、亀山村の12町村が誕生した。昭和18年には八重原村と周西村が合併して君津町となり、さらに昭和29～30年の町村合併により、君津町（君津町・貞元村・周南村）、小糸町（小糸村・中村）、清和村（秋元村・三島村）、小櫃村及び上総町（久留里町・松丘村・亀山村）の3町2村となり、昭和45年9月には、これら5か町村の合併により、人口64,609人、面積311.25K㎡の町が誕生し、翌昭和46年9月1日県下25番目に市制を施行した。

21世紀を迎え、東京湾アクアラインの開通、館山自動車道君津インターチェンジの開設に伴う周辺整備などが進展するなか、水と緑の豊かな自然の中で、「自然と人の共生」を基本理念とし、「自然と個性豊かな活力に満ちた都市」を目指す青春都市です。

消 防 の 歴 史

1. 武家消防のはじまり

消防が組織的に行われるようになったのは、江戸時代に入ってからで、1629年（寛永6年）に幕府は、江戸城を守るために大名数十家に火のかかりを命じた。火災の際には、老中の名をもって火消に関する奉書を出して、大名を非常招集したので「奉書火消」といわれた。

これが我が国で最初の消防隊で、その後、1639年（寛永16年）江戸城本丸から出火した火災で、城中ことごとく焼失したので幕府はこれを機会に大名火消の組織を強化し、浅野内匠頭長矩等6大名に専門に奉書火消の役を命じ、さらに、1643年（寛永20年）に6万石以下の譜代大名、浅野家、稲葉家など16家を火消の役に任じて420人を1隊と定め、4隊を編成10日ごとに各隊交替して任務にあたった。1658年（万治元年）に従来の大名火消のほかに4千石以上の旗本4名に火消役を命じ、これを幕府直属のものとしこれを定火消と呼んだ。定火消の組織としては、1人の火消役の下に与力6騎、同心30人、臥煙（がえん）100人が置かれた。

しかし、これらの大名火消や定火消の出動する範囲は厳しく制限され、江戸城と武家屋敷とに限られ、町場の火災には出向かず、延焼の恐れのあるときでも境界線で待機していた。

2. 公共消防（店火消・町火消）のはじまり

1719年（享保4年）には、江戸南町奉行の大岡越前守は町火消、いろは48組を設けるとともに本所、深川に別に16組を組織した。町火消は純然たる義勇消防であって、組員は無報酬に等しく、町内住民にこの義務が負わされた。また町奉行の監督に服してはいたが、純然たる自治的組織であって、経費一切が町の負担であり、組織や人員等も町役人の自由に委ねられていた。この組織は多少の変遷があったにせよ、明治維新まで続いた。

3. 消防組の興り

明治維新の訪れとともに武家火消は消滅したが、いろは48組と本所、深川の16組の町火消は新しく生れた南北市政裁判所に次いで新設された東京府に移管され、明治3年町火消を改組して消防組とした。

4. 千葉県消防の起源

県下における消防の組織は、明治14年千葉県警察の消防規則が定められたが、これが組織に制度化された千葉県消防の最初であった。その後明治27年2月勅令をもって消防組織規則が制定公布され、県下に41組84部5,804人の組員が誕生した。

5. 君津市消防の沿革

本市に公設消防組が誕生したのは、下記のとおりである。

久留里町	明治35年2月5日 2部編成、初代組頭 杉浦亀吉
小櫃村	大正3年8月18日 13部編成、初代組頭 宮崎庄之助
貞元村	大正3年2月1日 5部編成、初代組頭 宮崎国作
八重原村	大正6年2月 6部編成、人員450名、初代組頭 藤平元吉
小糸村	明治44年2月 12部編成、初代組頭 和田正作
中村	大正14年3月1日 10部編成、初代組頭 野口親
周南村	昭和2年3月 初代組頭 松本小八郎
周西村	大正2年1月
秋元村	明治末年頃 11部編成、初代組頭 山中秀蔵
三島村	明治末年頃 10部編成、初代組頭 星野忠平

松丘村、亀山村においても、おおむね昭和初期までには設置されたようである。

その後、警察行政の指導下において発展を続けてきたが、昭和14年国家の戦時体制の強化によって警防団に改組され、戦後、昭和22年再び消防団に復し、翌昭和23年消防組織法の施行によって、初めて警察行政から独立した。

このように、自治体消防組織が確立され、純然たる市町村機関としての消防団が誕生した。その後、昭和29～30年の町村合併により12消防団から5消防団に統合された後、昭和45年9月、3町2村の合併により消防団も統合され、1団5個支団45個分団の現在の組織となった。

常備消防については、昭和44年4月旧君津町における消防本部署の創設に始まり、発展を続け、現在は1本部1本署1室3分署からなり、職員定数160名の組織となった。

君 津 市 消 防 の あ ゆ み

明35. 2.	久留里町消防組設置
明44. 2.	小糸村消防組設置
大 3. 2.	貞元村消防組設置
大 3. 8.	小櫃村消防組設置
大 6. 2.	八重原村消防組設置
大14. 3.	中村消防組設置
昭 2. 3.	周南村消防組設置
	その他、周西、秋元、三島、松丘、亀山の5村においても、おおむね昭和初期までに消防組が設置されたようである。
昭14. 1. 24	警防団令の施行により、各町村消防組は警防団に改組
昭18. 4. 30	周西・八重原両村の合併により、両村警防団を統合して君津町警防団を設置
昭22. 4. 30	消防団令の施行により、各警防団は消防団に改組
昭23. 3. 7	消防組織法の施行により、警察行政から独立して完全な自治体消防となる。
昭29～30	町村合併の進行に伴い、従来の11町村消防団は君津、小糸、清和、小櫃、上総の5町村消防団となる。
昭38～39	昼間消防力の不足を補うため、5か町村にそれぞれ役場職員による消防隊が設置された。
昭44. 4. 1	君津町に消防本部・署が設置され、職員定数17名をもって発足
	消防長 長島昇氏就任
昭44. 6. 1	職員定数23名となる。
昭44. 7. 28	君津町危険物安全協会設立
昭44. 10. 21	消防署に化学消防ポンプ自動車1台配置
昭45. 4. 1	職員定数50名となる。
昭45. 8. 13	消防署に普通消防ポンプ自動車1台配置
昭45. 8. 17	消防署に救急自動車1台配置し救急業務を開始
昭45. 9. 28	5町村合併により新「君津町」誕生。従来の君津町消防本部・署はそのまま新君津町消防本部・署となり、消防団は統合されて、1団、5支団、44分団、団員定数1,506名となり、消防団長に鎌田善次郎氏就任
昭46. 3. 31	支団役員及び役場消防隊等の人員統一により、団員定数1,489名となる。
昭46. 4. 1	職員定数55名となる。
昭46. 9. 1	県下25番目の市として市制施行に伴い君津市消防本部・署、団と改称された。
昭46. 9. 30	消防長 長島昇氏退任
昭46. 10. 1	消防長 四宮喜八郎氏就任
昭47. 3. 31	消防署上総出張所竣工
昭47. 4. 1	職員定数83名となる。
	上総出張所及び小糸出張所設置（組織のみ）
昭47. 4. 5	消防署に救急自動車1台配置
昭47. 4. 30	消防長 四宮喜八郎氏退任
	消防団長 鎌田善次郎氏退任
昭47. 5. 1	消防長 鎌田善次郎氏就任
	消防団長 山田治雄氏就任
昭47. 6. 30	消防署に救急自動車1台配置

昭47. 7. 1	職員定数85名となる。 消防署上総出張所 職員20名、普通消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台をもって業務開始
昭47. 7. 31	消防署に普通消防ポンプ自動車1台配置
昭47. 9. 1	職員定数95名となる。
昭47. 10. 15	消防署に普通消防ポンプ自動車1台配置
昭47. 11. 26	消防署小糸出張所 職員18名、普通消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台をもって仮設庁舎（鎌滝自治会集会所）において業務開始
昭47. 12. 1	役場消防隊の廃止により団員定数1, 412名となる。
昭47. 12. 18	消防署に救急自動車1台配置
昭48. 3. 1	小糸出張所本庁舎で業務開始
昭48. 3. 31	消防団長 山田治雄氏退任
昭48. 4. 1	消防団長 川俣正明氏就任 職員定数99名となる。 一部団員削除のため、消防団員定数1, 362名となる。
昭48. 5. 12	千葉県消防設備保守協会より広報車1台の寄贈を受け本部に配置
昭48. 6. 21	千葉県共済農業協同組合連合会より救急自動車1台の寄贈を受け署に配置
昭48. 10. 1	救助隊（隊長以下14名）、音楽隊（隊長以下25名、全員兼務）を設置
昭48. 11. 13	消防署に40m級梯子付消防ポンプ自動車1台配置
昭48. 11. 21	日本損害保険協会より普通消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け署に配置
昭49. 3. 28	消防署に救助工作車1台配置
昭49. 4. 1	職員定数120名となる。 消防団音楽部の廃止により消防団員定数1, 342名となる。
昭49. 7. 15	日本消防協会より小型動力ポンプ付積載車1台の寄贈を受け署に配置
昭50. 4. 1	消防団長 川俣正明氏再任
昭51. 8. 1	消防本部機構改革、総務課・予防課の二課制とする。
昭52. 4. 1	消防署機構改革、庶務係・消防係・救急係の三係制とする。 消防団長 川俣正明氏再任
昭53. 5.	木更津信用金庫よりマイクロバス1台、連絡車1台の寄贈を受け本部に配置
昭54. 1.	消防署に大型化学消防ポンプ自動車1台配置
昭54. 3. 31	消防署に指揮車1台配置
昭54. 3. 31	消防長 鎌田善次郎氏退任
昭54. 4. 1	消防長 加藤栄氏就任 消防団長 川俣正明氏再任
昭54. 8. 3	君津市防火管理安全協議会設立
昭55. 3. 3	消防署に泡原液搬送車1台配置
昭55. 3. 31	消防団長 川俣正明氏退任
昭55. 4. 1	消防団長 小倉義雄氏就任 消防本部・署機構改革、総務課に財務係・庶務係、予防課に指導係・危険物係の二係制、署に庶務係・消防係・救急係の三係制とする。
昭55. 4. 22	君津婦人防火クラブ設立
昭55. 11. 4	日本防火協会より婦人防火クラブ広報車1台の寄贈を受け予防課に配置

昭55. 12. 26	少年消防クラブ設立（大和田小学校・小櫃小学校）
昭56. 3. 25	消防署に普通消防ポンプ自動車 1 台配置
昭56. 4. 1	消防団長 小倉義雄氏再任 人員削減により消防団員定数 9 9 8 名となる。
昭56. 7. 10	総務課に連絡車 1 台配置
昭57. 1. 28	消防署に救急自動車 1 台配置
昭57. 2. 24	消防署上総出張所に普通消防ポンプ自動車 1 台配置
昭57. 4. 1	消防署機構改革、庶務係・消防係・救急係・救助係・通信係の五係制とする。
昭57. 11. 18	消防本部・消防団が第18回県民の消防員団体表彰旗受賞
昭57. 12. 21	消防署に大型高所放水車 1 台配置
昭58. 2. 27	予防課に査察車 1 台配置
昭58. 3. 15	消防署小糸出張所に救急自動車 1 台配置
昭58. 3. 31	消防長 加藤栄氏退任 消防団長 小倉義雄氏退任
昭58. 4. 1	消防長 齋藤正雄氏就任 消防団長 松井清氏就任
昭58. 5. 10	幼年消防クラブ設立（清和保育園）
昭58. 11. 14	消防署小糸出張所に普通消防ポンプ自動車 1 台配置
昭58. 11. 30	少年消防クラブ設立（松丘小学校）
昭59. 1. 24	消防署上総出張所に救急自動車 1 台配置
昭59. 2. 28	消防署上総出張所に小型動力ポンプ付積載車 1 台配置
昭59. 9. 30	消防長 齋藤正雄氏退任
昭59. 10. 1	消防長 永瀧英氏就任
昭59. 10. 15	消防署に指揮車 1 台配置
昭59. 10. 30	消防署に普通消防ポンプ自動車 1 台配置
昭60. 2. 8	消防団が昭和59年度日本消防協会長表彰旗受章
昭60. 3. 9	日本損害保険協会より救急自動車 1 台の寄贈を受け署に配置
昭60. 3. 31	消防団長 松井清氏退任
昭60. 4. 1	消防団長 服部基吉氏就任
昭60. 5. 21	本部に消防指令車 1 台配置
昭60. 12. 20	消防署小糸出張所に小型動力ポンプ付積載車 1 台配置
昭61. 5. 26	予防課に査察パトロール車 1 台配置
昭61. 5. 28	総務課に輸送車 1 台配置
昭62. 2. 20	普通消防ポンプ自動車 2 台更新（第3・18分団）
昭62. 3. 10	小型動力ポンプ付積載車 1 台更新（第31分団）
昭62. 3. 31	消防団長 服部基吉氏退任
昭62. 4. 1	消防団長 山下秀弥氏就任
昭62. 11. 20	普通消防ポンプ自動車 1 台更新（第8分団）
昭63. 2. 13	小型動力ポンプ付積載車 1 台更新（第33分団）
昭63. 3. 15	救助工作車更新（消防署）
昭63. 7. 21	日本消防協会より連絡車 1 台の寄贈を受け総務課に配置
昭63. 11. 14	普通消防ポンプ自動車 3 台更新（第7・11・22分団）

昭63. 11. 25	少年消防クラブ設立（中小学校） 幼年消防クラブ設立（美和幼稚園）
昭63. 12. 23	消防署に水槽付消防ポンプ自動車（I－A）1台配置
平元. 1. 10	天皇陛下崩御（1月7日）により、消防出初式は中止される。
平元. 1. 31	小型動力ポンプ付積載車1台更新（第40分団）
平元. 3. 31	消防長 永蔭英氏退任 消防団長 山下秀弥氏退任
平元. 4. 1	消防長 皆川桂信氏就任
平元. 4. 1	消防団長 小倉大和氏就任
平元. 10. 23	普通消防ポンプ自動車1台更新（第28分団）
平 2. 3. 12	普通消防ポンプ自動車2台更新（第2・19分団）
平 2. 3. 29	小型動力ポンプ付積載車3台更新（第13・20・41分団）
平 2. 7. 25	第26回千葉県消防操法大会において第13分団が小型ポンプの部で最優秀賞、 第3分団がポンプ自動車の部で優秀賞を受賞
平 2. 10. 12	第12回全国消防操法大会に第13分団が出場し敢闘賞を受賞
平 2. 12. 17	小型動力ポンプ付積載車2台更新（第37・39分団）
平 3. 1. 21	小型動力ポンプ付積載車1台更新（第35分団）
平 3. 4. 1	消防団長 小倉大和氏再任
平 3. 7. 25	日本消防協会より救急自動車1台の寄贈を受け消防署に配置
平 3. 8. 31	連絡1号車更新（総務課）
平 3. 12. 20	普通消防ポンプ自動車1台更新（第10分団） 小型動力ポンプ付積載車1台更新（第44分団） 消防ポンプ自動車1台更新（消防署）
平 4. 2. 25	広報車1台更新（予防課）
平 4. 3. 9	小型動力ポンプ付積載車1台更新（第14分団）
平 4. 3. 16	大型化学消防ポンプ自動車1台更新（消防署）
平 4. 7. 23	消防署に現場指揮広報車1台配置
平 4. 8. 5	消防庁舎新築工事開始
平 5. 2. 4	普通消防ポンプ自動車1台更新（消防署）
平 5. 3. 8	普通消防ポンプ自動車2台更新（第9・29分団） 小型動力ポンプ付積載車2台更新（第34・42分団）
平 5. 3. 31	消防長 皆川桂信氏退任 消防団長 小倉大和氏退任
平 5. 4. 1	消防長 榎本守氏就任 消防団長 柳井範佳氏就任 職員定数129名となる。 消防署機構改革により指令室を新設し、通信係を指令係とした。
平 5. 9. 10	消防庁舎完成
平 5. 9. 20	新消防庁舎にて業務開始
平 5. 10. 21	梯子付消防自動車（38m級）更新（消防署）
平 5. 12. 20	査察車1台更新（予防課）
平 6. 1. 21	救急自動車1台更新（消防署小糸出張所）
平 6. 3. 11	普通消防ポンプ自動車2台更新（第12・24分団）
平 6. 3. 23	普通消防ポンプ自動車1台更新（消防署小糸出張所）
平 6. 3. 25	小型動力ポンプ付積載車1台更新（第17分団）
平 6. 4. 1	職員定数140名となる。

平 6. 10. 27	第10回全国婦人消防操法大会出場敢闘賞を受賞
平 6. 11. 11	小型動力ポンプ付積載車 1 台更新（消防署上総出張所）
平 6. 12. 21	普通消防ポンプ自動車 2 台更新（第1・38分団） 小型動力ポンプ付積載車 2 台更新（第30・32分団）
平 7. 1. 17	阪神淡路大震災発生、1月26日西宮市、2月8日に神戸市に市災害救援班派遣、 班員として消防職員 3 名を派遣
平 7. 2. 17	泡原液搬送車更新（消防署）
平 7. 3. 10	救急自動車 1 台更新（消防署上総出張所）
平 7. 3. 31	消防長 榎本守氏退任
平 7. 4. 1	消防長 石井洋氏就任 消防団長 柳井範佳氏再任
平 7. 11. 12	防災フェスティバル開催 第 1 回君津市消防団早出し競技会開催
平 7. 11. 22	小型動力ポンプ付積載車 1 台更新（消防署小糸出張所）
平 7. 11. 24	第16分団機庫火災
平 7. 11. 30	救急救命士 2 名誕生 消防署に高規格救急自動車 1 台配置
平 8. 1. 22	普通消防ポンプ自動車 2 台更新（第4・6分団）
平 8. 1. 31	救助隊に隊員保護器具(防毒衣・毒ガス検知管) 4 セット配備
平 8. 2. 1	高規格救急自動車運用開始
平 8. 2. 24	消防音楽隊ジョイントコンサート（君津市民文化ホールにて新日鐵君津吹奏楽団と 共演）
平 8. 2. 25	消防団第4分団機庫新築（鉄骨造平家建・延51.91㎡）
平 8. 3. 19	普通消防ポンプ自動車 2 台更新（第16・43分団） 小型動力ポンプ付積載車 2 台更新（第21・36分団）
平 8. 3. 25	消防団第16分団機庫新築（鉄骨造平家建・延51.91㎡）
平 8. 10. 23	第 1 回クスの木コンサート開催
平 8. 11. 20	消防団用救助資機材(チェーンソー・エンジンカッター各 3 台)を各署所に配備
平 8. 12. 1	君津消防協力隊(セイバー君津)発足
平 8. 12. 6	第 1 回君津市消防職員委員会開催
平 9. 1. 31	泡原液タンク(10㎡)設置
平 9. 2. 28	100㎡級耐震性貯水槽 1 基新設（中野東公園）
平 9. 3. 31	市役所遊休施設(浄化槽)を1,000㎡級貯水槽に改修 第 2 分団施設(機庫・貯水槽・乾燥塔)解体 消防団長 柳井範佳氏退任
平 9. 4. 1	消防団長 鳥井征利氏就任 消防署救急二隊稼動開始
平 9. 6. 24	100㎡級耐震性貯水槽 1 基新設（坂田駅前公園）
平 9. 7. 7	消防署に林野火災用可搬式送水装置 1 台配置
平 9. 8. 24	救急フェア開催
平 9. 12. 10	普通消防ポンプ自動車 3 台更新（第25・26・27分団）
平 9. 12. 16	消防団用救助資機材(チェーンソー・エンジンカッター各 3 台)を各署所に配備
平10. 1. 22	消防団組織検討委員会第 1 回会議開催（委員長 小川副団長）
平10. 1. 28	小型動力ポンプ付積載車 1 台更新（第23分団）
平10. 3. 25	消防団第4分団機庫新築（鉄骨造平家建・延51.98㎡）
平10. 3.	旧泡原液搬送車タンクを改修し、法木地先市有林に貯水槽として設置
平10. 3. 31	消防長 石井洋氏退任

平10. 4. 1	消防長 鈴木征二氏就任
平10. 6. 6	消防ポンプ自動車更新（消防署・CD-II型）
平10.11.13	100m ³ 級耐震性貯水槽 1 基新設（久留里市場農村公園）
平10.12.25	消防団第3分団機庫新築（鉄骨造平家建・延51.98m ² ）
平10.12.28	査察車更新（予防課）
平11. 1.10	君津市消防出初式挙行（第2日曜日とした）
平11. 3.31	消防長 鈴木征二氏退任
平11. 4. 1	消防長 宮崎彌一郎氏就任 消防団長 鳥井征利氏再任 小糸・上総出張所を分署に格上げ
平11. 6. 7	消防団第5分団機庫新築（鉄骨造平家建・延51.98m ² ）
平11. 6.19	第29回君津市消防団消防操法大会開催（ポンプ車38分団・小型ポンプ32分団優勝）
平11. 7. 3	第20回君津支部消防操法大会開催（ポンプ車君津優勝・小型ポンプ君津優勝）
平11. 7.27	第35回千葉県消防操法大会開催（ポンプ車2位・小型ポンプ6位）
平11. 8.21	99きみつ消防防災フェア開催
平11.11. 1	100m ³ 級耐震性貯水槽 1 基新設（池田東公園）
平12. 1.31	資機材搬送車 1 台配備（クレーン付）
平12. 3. 6	消防団第9分団機庫新築（鉄骨造2階建・延57.96m ² ）
平12. 4. 1	指令室に課長相当職を配置 分署長・指令室長日勤体制になる。 普通救助隊を特別救助隊に改組
平13. 1.15	連絡車更新（総務課）
平13. 2.13	消防団第32分団機庫新築（鉄骨造2階建・延57.96m ² ）
平13. 3.23	救助工作車更新（消防署）
平13. 3.28	100m ³ 級耐震性貯水槽 1 基新設（大道沢北公園）
平13. 3.31	消防長 宮崎彌一郎氏退任 消防団長 鳥井征利氏退任
平13. 4. 1	消防長 坂本健司氏就任
平13. 4. 1	消防団長 鈴木康弘氏就任
平13. 6.23	第30回君津市消防団消防操法大会開催（ポンプ車26分団・小型ポンプ32分団優勝）
平13. 7. 7	第22回君津支部消防操法大会開催（ポンプ車君津優勝・小型ポンプ君津優勝）
平13. 8. 1	第37回千葉県消防操法大会開催（ポンプ車8位・小型ポンプ2位）
平13.10.16	40m ³ 級耐震性貯水槽 1 基新設（北子安公園）
平13.10.26	消防専用無線電話装置用自家発電システム設置（小糸分署）
平13.11.28	上総分署に高規格救急自動車 1 台配置
平14. 1. 1	ホームページ開設
平14. 3. 5	40m ³ 級耐震性貯水槽 1 基新設（戸崎地先）
平14. 3.15	上総分署ホース乾燥塔更新
平14. 3.19	消防団第1分団機庫新築（鉄骨造平家建・延51.97m ² ）
平14. 7.13	第23回君津支部消防操法大会開催（ポンプ車君津優勝・小型ポンプ君津2位）
平14. 7.31	第38回千葉県消防操法大会開催（ポンプ車3位）
平14.12.16	小糸分署ホース乾燥塔更新
平15. 2.28	消防団第26分団機庫新築（鉄骨造2階建・延58m ² ）
平15. 3.13	40m ³ 級耐震性貯水槽 1 基新設（中島中部自治会館）
平15. 3.25	消防団第21分団機庫移転改修（軽量鉄骨造2階建・延52.71m ² ）
平15. 3.27	40m ³ 級耐震性貯水槽 1 基新設（上総亀山駅）

平15. 3. 31	消防長 坂本健司氏退任
平15. 4. 1	消防長 早坂勲氏就任 消防団長 鈴木康弘氏再任 消防本部・署機構改革、総務課を消防総務課とし財務担当・庶務担当、予防課に指導担当・危険物担当の二グループ制、署は庶務班・消防隊・救急隊・救助隊の体制となり、指令係を指令班とした。
平15. 7. 3	火の用心サミット（取手市、浜松市、新城市、岡崎市、丸岡町、君津市）
平15. 8. 24	「消防開放日」の実施
平15. 8. 28	第32回全国消防救助技術大会に出場（種目：ロープブリッジ渡過）
平15. 9. 26	広報車更新（予防課） 連絡車更新（消防署）
平15. 11. 20	自治体消防55周年記念大会に参加
平15. 12. 4	第8分団ホース乾燥塔更新
平15. 12. 19	40m ³ 級耐震性貯水槽 1 基新設（大岩青年館）
平16. 2. 18	消防団第15分団機庫新築（鉄骨造平家建・延51.97m ² ）
平16. 2. 25	消防団第41分団機庫新築（鉄骨造 2 階建・延64.24m ² ）
平16. 3. 17	40m ³ 級耐震性貯水槽 1 基新設（中野西公園）
平16. 3. 30	消防長 早坂勲氏退任
平16. 3. 31	40m ³ 級耐震性貯水槽 1 基新設（尾車地先）
平16. 4. 1	消防長 山下実氏就任 君津市防火安全協会発足（君津市防火管理安全協議会・君津市危険物安全協会・君津婦人防火クラブの統合）
平16. 7. 7	第7分団ホース乾燥塔更新
平16. 8. 26	第33回全国消防救助技術大会に出場（種目：ロープブリッジ渡過、はしご登はん）
平16. 11. 14	消防団駅伝大会開催（優勝第3支団）
平16. 11. 19	小糸分署に高規格救急車 1 台配置
平16. 12. 7	普通消防ポンプ自動車 1 台更新（第15分団、CD-I 型）
平16. 12. 20	40m ³ 級耐震性貯水槽 1 基新設（大野原公園）
平17. 2. 25	消防庁長官表彰（消防団地域活動表彰（団員確保功労））受賞
平17. 3. 17	40m ³ 級耐震性貯水槽 1 基新設（行馬地先）
平17. 3. 31	消防団長 鈴木康弘氏退任
平17. 4. 1	消防団長 高橋 明氏就任 女性消防官1名採用（救命士）
平17. 8. 25	第34回全国消防救助技術大会に出場（種目：ロープブリッジ渡過）
平17. 10. 31	第30分団ホース乾燥塔更新
平17. 11. 10	第36回県民の消防員表彰で消防団が団体表彰受章
平17. 11. 29	NBC 災害対応資機材4式救助隊へ配備
平18. 2. 28	普通消防ポンプ自動車 1 台更新（第3分団、CD-I 型） 消防緊急援助隊支援資機材（エアーテント他）配備
平18. 3. 10	40m ³ 級耐震性貯水槽 1 基新設（サエン田公園）
平18. 3. 24	消防署本署に高規格救急車 1 台配置 消防団第24分団機庫新築（鉄骨造 2 階建・延64.24m ² 、ホース乾燥塔更新）
平18. 3. 31	消防長 山下 実氏退任
平18. 4. 1	消防長 尾棹 進氏就任 緊急消防援助隊に消火・救急・後方支援部隊を登録
平18. 11. 9	消防団による住宅防火診断
平18. 12. 8	第25分団ホース乾燥塔更新
平18. 12. 8	第32分団ホース乾燥塔更新
平18. 12. 15	100m ³ 級耐震性貯水槽 1 基新設（君津中央公園）

平19. 1. 24	本署に災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車 1 台配置 (I-B型)
平19. 2. 28	40m ³ 級耐震性貯水槽 1 基新設 (末吉地先)
平19. 3. 9	小型動力ポンプ付積載車 1 台更新 (第31分団)
平19. 3. 14	40m ³ 級耐震性貯水槽 1 基新設 (人見地先)
	40m ³ 級耐震性貯水槽 1 基新設 (小糸分署)
平19. 3. 20	消防団第40分団機庫新築 (鉄骨造平家建・延59.62m ²)
平19. 3. 23	普通消防ポンプ自動車 1 台更新 (第18分団、CD-I 型)
平19. 3. 28	本署に高規格救急車 1 台配置
平19. 4. 1	職員定数160名となる。
平19. 4. 1	消防団長 高橋 明氏再任
平19. 4. 1	女性消防官1名採用 (救命士)
平19. 7. 9	高機能消防指令センター設計業務委託
平19. 9. 9	君津市消防団フェア実施
平19. 9. 28	40m ³ 級耐震性貯水槽 1 基新設 (郡地先)
平20. 2. 8	小型動力ポンプ付積載車 1 台更新 (第33分団)
平20. 2. 6	本署に高規格救急車 1 台配置
平20. 2. 28	普通消防ポンプ自動車 1 台更新 (第8分団、CD-I 型)
平20. 2. 29	第42分団ホース乾燥塔更新
平20. 2. 29	40m ³ 級耐震性貯水槽 1 基新設 (南子安地先)
平20. 3. 12	上総分署に水槽付消防ポンプ自動車 1 台配置 (I-A型)
平20. 3. 17	消防団第7分団機庫新築 (鉄骨造平家建・延59.62m ²)
平20. 3. 18	松丘分署庁舎竣工
平20. 3. 21	100m ³ 級耐震性貯水槽 1 基新設 (広岡地先)
平20. 3. 31	消防長 尾棹 進氏退任
平20. 4. 1	消防長 鈴木 隆氏就任
平20. 4. 1	君津市消防団協力事業所表示制度実施要綱を施行
平20. 7. 14	君津市消防署松丘分署外構工事完成
平20. 9. 23	第2回君津市消防団フェア実施
平20. 9. 24	松丘分署に普通消防ポンプ自動車 1 台配備 (CD-I 型)
平20. 10. 4	君津市消防署松丘分署業務開始
	職員15名 消防ポンプ自動車 1 台 高規格救急車 1 台をもって業務開始
平21. 3. 6	普通消防ポンプ自動車 1 台更新 (第22分団、CD-I 型)
平21. 3. 25	高機能消防指令センター運用開始
平21. 3. 31	40m ³ 級耐震性貯水槽 1 基新設 (大山野地先)
平21. 3. 31	消防長 鈴木 隆氏退任
平21. 3. 31	消防団長 高橋 明氏退任
平21. 4. 1	消防長 岡根 敏晴氏就任
平21. 4. 1	消防団長 前田 吉敬氏就任
平21. 4. 1	機能別消防団員制度開始 (市役所分団)
平21. 4. 1	女性消防官1名採用 (消防士)
平21. 6. 1	女性消防官1名採用 (救命士)
平21. 9. 8	広報連絡車 1 台配備 (松丘分署)
平21. 10. 1	君津市消防署松丘分署23名体制業務開始
平21. 12. 16	第38分団ホース乾燥塔更新
平21. 12. 25	消防本部査察車1台更新 (予防課)
平22. 2. 26	普通消防ポンプ自動車 1 台配備 (松丘分署、CD-II 型)
平22. 2. 26	常備消防発足40周年記念式典
平22. 3. 2	普通消防ポンプ自動車 2 台更新 (第7・11分団 CD-I 型)
平22. 3. 19	40m ³ 級耐震性貯水槽 1 基新設 (上新田地先)
平22. 3. 26	共同指令センター運営計画が千葉県消防指令業務共同運用推進協議会に承認

位置・地勢

本市は、房総半島のほぼ中央に位置し、県下第二位の広大な面積を有している。西端は東京湾に臨み、北から順に木更津市、市原市、大多喜町、鴨川市、富津市の4市1町と境を接している。

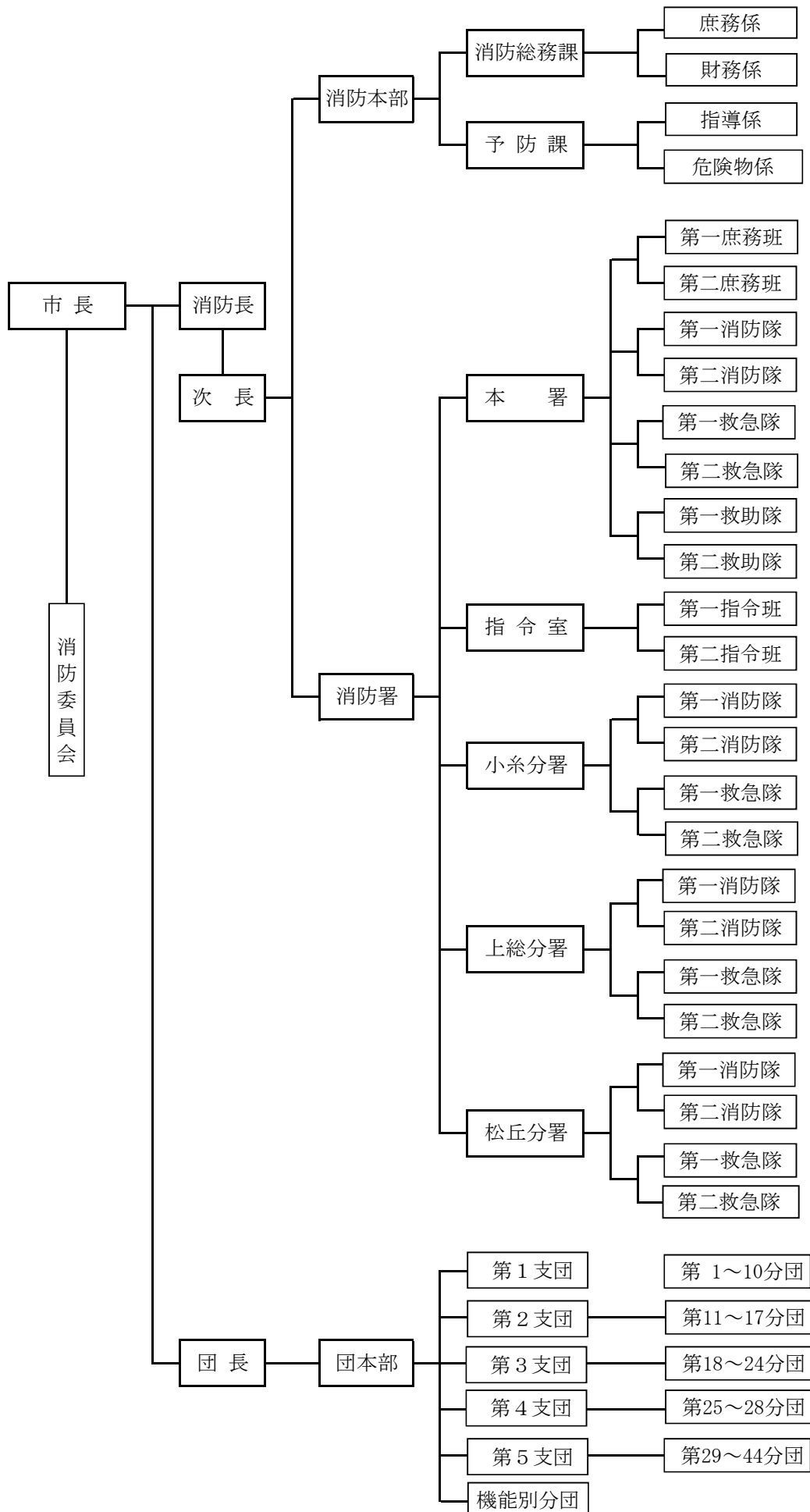
市の南部には清澄山系が東西に連なり、それより更に東部には大福山系、西部に高宕、鹿野山系、中央には三石、大塚山系がそれぞれ北に向って走り、次第になだらかな丘陵となっている。三石山系の間を東には小櫃川が北に流れて木更津市に入り、西には小糸川が北西に流れて東京湾に注ぎ、両川の沿岸には肥沃な耕地が開けている。“鉄鋼の君津”と呼ばれるように臨海部は工業化がすすんだが、市の東南部には丘陵地帯がひろがり、自然の大パノラマが展開されている。

豊かな水と緑、温暖な気候、澄んだ空気、明るい光の中で栽培される新鮮な野菜と果物
温泉も湧き出て、観光地としての要素がいっぱい。また、豊かな心を育てる名所、旧跡も
すばらしいものがある。

☆ 位 置	東 経	139° 55' 01"
	北 緯	35° 19' 05"
☆ 面 積		3 1 8 . 8 3 K m ²
☆ 広 ば う	東 西	2 7 . 3 K m
	南 北	2 2 . 6 K m
☆ 周 囲		1 1 8 . 2 K m



消 防 の 組 織



消防本部事務分掌

消 防 総 務 課	1	施策の企画、推進及び進行管理並びに本庁との連絡調整に関すること。
	2	事務事業の管理及び改善並びに予算及び施策の評価に関すること。
	3	予算、決算、人事等に関する総合調整に関すること。
	4	職場内研修の企画及び推進に関すること。
	5	主要施策の関係機関に係る情報の収集及び整理並びに当該関係機関との連絡調整に関すること。
	6	本部内の庶務に関すること。
	7	文書及び公印に関すること。
	8	消防長が別に定める警防事務の調整に関すること。
	9	訓令等に関すること。
	10	消防団に関すること。
	11	消防関係団体との連絡調整に関すること。
	12	消防委員会に関すること。
	13	儀式及び表彰に関すること。
	14	消防職員委員会に関すること。
	15	安全衛生委員会に関すること。
	16	安全運転教育に関すること。
	17	消防用財産の取得、管理及び処分に関すること。
	18	貸与品に関すること。

予 防 課	1	防火対象物、消防用設備等の届出の処理に関すること。
	2	消防同意に関すること。
	3	消防法(昭和23年法律第186号)に基づく立入検査及び違反処理に関すること。
	4	火災の予防及び防災意識の普及啓発に関すること。
	5	消防広報及び消防音楽隊に関すること。
	6	防災関係団体との連絡調整に関すること。
	7	防火関係団体の育成指導に関すること。
	8	火災警報の発令に関すること。
	9	防火管理者の育成に関すること。
	10	危険物製造所等の許認可に関すること。
	11	危険物製造所等の立入検査及び予防措置に関すること。
	12	少量危険物及び指定可燃物の届出に関すること。
	13	石油コンビナート等特別防災区域の防災指導に関すること。
	14	危険物取扱者の指導に関すること。
	15	消防関係手数料の収納に関すること。
	16	水火災の調査及び統計に関すること。
	17	り災証明に関すること。

消防署事務分掌

本 署	第一庶務班 第二庶務班	1 公印及び物品の管理に関する事。 2 署員の勤務計画に関する事。 3 署員の研修及び福利厚生に関する事。 4 本署隊の編成に関する事。 5 署に関する事。
	第一消防隊 第二消防隊	1 水火災等の警戒及び防御並びに訓練に関する事。 2 君津市消防警防規程(平成13年君津市消防本部訓令(甲)第1号)に基づく警防調査に関する事。 3 消防技術及び消防資機材等の研究並びに調査に関する事。 4 消防車両及び消防資機材等の維持管理に関する事。 5 君津市火災予防条例(昭和46年君津市条例第26号)に基づく届出の処理に関する事。(予防課において所掌するものを除く) 6 火災調査に関する事。(その他の火災等の軽易なもの)
	第一救急隊 第二救急隊	1 救急業務に関する事。 2 救急技術及び救急資機材等の研究並びに訓練に関する事。 3 救急車両及び救急資機材等の維持管理に関する事。 4 救急医療機関との連絡調整に関する事。 5 応急手当の普及啓発に関する事。 6 救急搬送証明に関する事。 7 救急統計に関する事。
	第一救助隊 第二救助隊	1 救助業務に関する事。 2 救助技術及び救助資機材等の研究並びに調査に関する事。 3 救助車両及び救助資機材等の維持管理に関する事。 4 救助統計に関する事。

指令室	第一指令班 第二指令班	1 火災、救急、救助その他の災害等の受報及び出動指令に関する事。 2 防災通信に関する事。 3 災害情報等の収集及び関係機関との連絡に関する事。 4 通信指令業務の研究及び訓練に関する事。 5 通信指令施設の維持管理に関する事。 6 気象観測及び気象統計に関する事。
-----	----------------	--

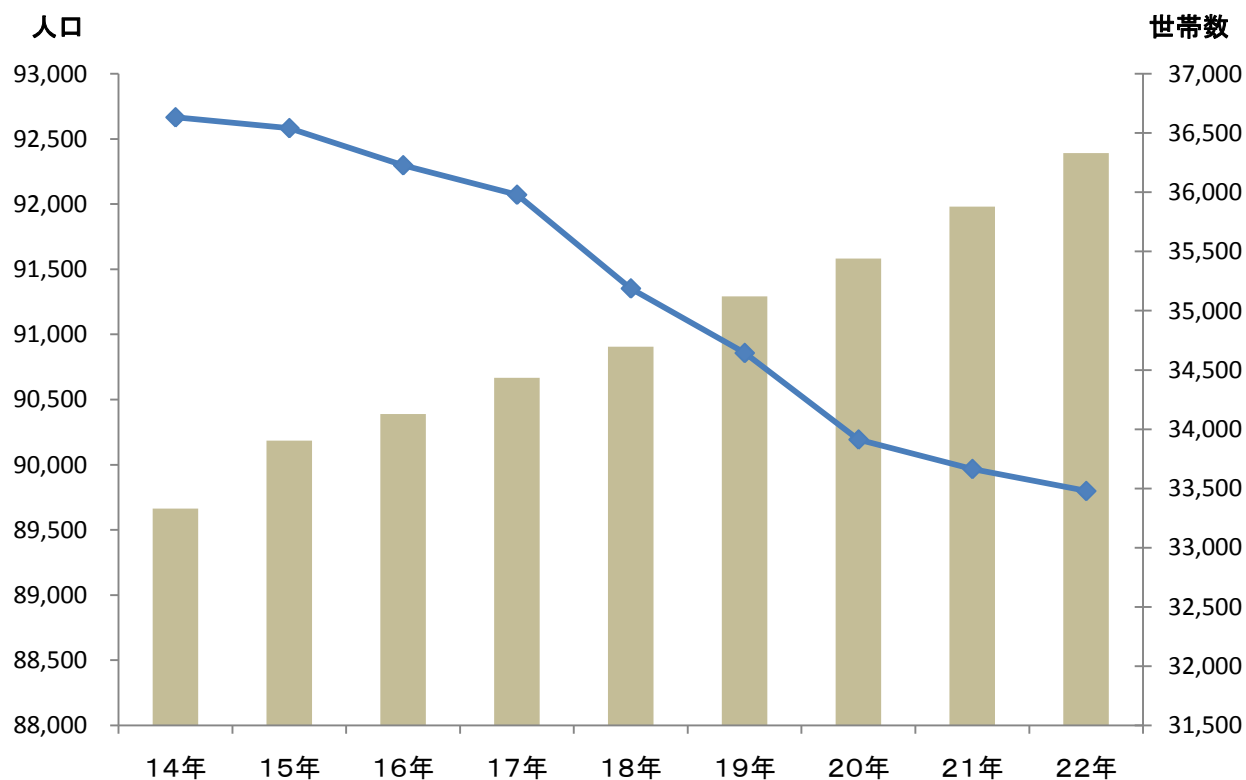
分 署	第一消防隊 第二消防隊	1 水火災等の警戒及び防御並びに訓練に関する事。 2 救助業務に関する事。 3 君津市消防警防規程に基づく警防調査に関する事。 4 消防技術及び消防資機材等の研究並びに調査に関する事。 5 消防車両及び消防資機材等の維持管理に関する事。 6 君津市火災予防条例に基づく届出の処理に関する事。 (予防課において所掌するものを除く) 7 火災調査に関する事。(その他の火災等の軽易なもの) 8 分署に関する事。
	第一救急隊 第二救急隊	1 救急業務に関する事。 2 救急技術及び救急資機材等の研究並びに訓練に関する事。 3 救急車両及び救急資機材等の維持管理に関する事。 4 救急医療機関との連絡調整に関する事。 5 応急手当の普及啓発に関する事。

君津市の市勢推移

各年 4月1日現在

項目 年	面 積 (k m ²)	人 口	世帯数	消防職員一人当たり			消防団員一人当たり		
				人 口	世帯数	面 積	人 口	世帯数	面 積
平成14年	318.83	92,666	33,329	691	248	237	103	37	35
平成15年	318.83	92,583	33,903	696	254	239	101	37	35
平成16年	318.83	92,298	34,129	694	257	240	100	37	35
平成17年	318.83	92,072	34,434	682	255	236	100	37	35
平成18年	318.83	91,353	34,697	672	255	234	98	37	34
平成19年	318.83	90,858	35,121	658	255	231	100	39	35
平成20年	318.83	90,194	35,440	605	238	214	99	39	35
平成21年	318.83	89,968	35,878	580	231	206	96	38	34
平成22年	318.83	89,799	36,332	576	233	204	95	39	34

人口・世帯数の推移



予算の推移(一般会計)

年 度	一般会計 当初予算(A) (千円)	消 防 費 当初予算(B) (千円)	構成比 (B)/(A) (%)	市民一人 当たり 予算額 (円)	市民一人 当たり 消防費 (円)
平成 1 4 年度	27,350,000	1,481,669	5.4	295,146	15,924
平成 1 5 年度	27,350,000	1,457,068	5.3	295,411	15,924
平成 1 6 年度	27,400,000	1,422,432	5.2	296,865	15,723
平成 1 7 年度	25,800,000	1,470,228	5.7	280,215	15,929
平成 1 8 年度	27,100,000	1,591,627	5.9	296,651	17,423
平成 1 9 年度	28,000,000	1,785,818	6.4	308,173	19,655
平成 2 0 年度	29,500,000	1,824,272	6.2	327,073	20,226
平成 2 1 年度	28,500,000	1,526,041	5.4	316,779	16,962
平成 2 2 年度	29,300,000	1,557,257	5.3	326,284	17,342

消防予算の推移

単位：千円

年 度	常備消防費	非常備消防費	消防施設費	災害対策費	合 計
平成 1 4 年度	1,299,572	75,260	61,535	20,701	1,457,068
平成 1 5 年度	1,274,822	77,304	56,075	14,856	1,423,057
平成 1 6 年度	1,258,038	71,384	80,623	12,387	1,422,432
平成 1 7 年度	1,268,758	78,319	98,648	24,503	1,470,228
平成 1 8 年度	1,253,415	75,058	129,189	133,965	1,591,627
平成 1 9 年度	1,261,954	79,121	372,171	72,572	1,785,818
平成 2 0 年度	1,272,525	78,000	429,694	44,053	1,824,272
平成 2 1 年度	1,317,053	78,632	95,840	34,516	1,526,041
平成 2 2 年度	1,300,447	74,308	119,452	63,050	1,557,257

消防職員の配置状況

平成22年4月1日現在

階級別 配置別		消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他	計
消防本部	消 防 長	1							1
	次 長		1						1
	消 防 総 務 課		1	2	2	2			7
	予 防 課		2	3	1	2	1		9
消防署	本 署		6	8	8	11 ①	25 ①		58 ②
	指 令 室		1	4		2	4		11
	小 系 分 署		1	9		5	8		23
	上 総 分 署		1	7	3	7	5		23
	松 丘 分 署		1	7	1	6 ①	8 ①		23 ②
出 向			1		2				3
計		1	15	40	17	35 ②	51 ②		159 ④

※○は、うち女性

消防職員の勤続年数

平成22年4月1日現在

階級別 年 数	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他	計
5年未満					4 ①	51 ②		55 ③
5年以上10年未満					13 ①			13 ①
10年以上15年未満								0
15年以上20年未満				8	18			26
20年以上25年未満				4				4
25年以上30年未満			1	4				5
30年以上	1	15	39	1				56
計	1	15	40	17	35 ②	51 ②		159 ④

※○は、うち女性

消防職員の階級別年齢

平成22年4月1日現在

階級 年齢	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士	その他	計
18						3		3
19						8		8
20						9		9
21						4		4
22						9		9
23						9		9
24					1	2		3
25					1	3		4
26					2			2
27					1	2		3
28					3			3
29								
30					1			1
31					2	1		3
32					2	1		3
33					5			5
34					6			6
35					11			11
36				5				5
37				2				2
38				1				1
39				1				1
40				1				1
41				2				2
42								
43								
44								
45				1				1
46				2				2
47								
48			2	1				3
49			2					2
50			4					4
51			1					1
52			1					1
53			1	1				2
54			5					5
55			3					3
56		4	9					13
57		6	6					12
58		3	2					5
59	1	2	4					7
60								
計	1	15	40	17	35	51		159
平均	59歳6月	57歳5月	54歳5月	40歳4月	31歳6月	21歳5月		37歳5月

消防職員の研修状況

平成22年3月31日現在

年度別（平成） 研修科目			1 6 年度 以 前	1 7 年度	1 8 年度	1 9 年度	2 0 年度	2 1 年度	計
消 防 大 学 校	上級幹部科								0
	幹部研修科		5		1		1		7
	本 科		4						4
	予 防 科		1						1
	警 防 科		6					1	7
	救 急 科		7						7
千 葉 県 消 防 学 校	初 任 科		138	5	4	10	16	15	188
	警 防 科		11						11
	予防科	予 防 査 察 科 （ 予 防 科 程 ）	16			1	1	1	19
		査 察 科 程	7						7
		火 災 調 査 科	6				1	1	8
		危 険 物 科	7						7
	救急科	救 急 科	41	1	1	1	2	2	48
		Ⅱ 科 程	42						42
	初級幹部科		48						48
	中級幹部科		24					1	25
	幹部特別研修科		2						2
	救助科		14	1	1	1	1	1	19
	訓練指導科		60	2	1	2	2	2	69
	はしご自動車等講習会		22		2	1	1	1	27
気管挿管講習		3	3					6	
薬剤投与講習				2	1	1	2	6	
気管挿管・薬剤投与講習				2	1	1	1	5	
救急救命士養成研修			8					1	9

消防職員の資格取得状況

資 格 等 の 種 類	資格取得者数	資 格 等 の 種 類	資格取得者数
救急救命士	29	潜 水 士	31
救急Ⅱ課程	30	ガス溶接	9
救急標準課程	46	小型クレーン	26
特定化学物質等作業主任	18	玉 掛	22
高压ガス製造保安責任者	8	小型船舶	17

消防職員の表彰

表彰区分 \ 年度別		15 年度	16 年度	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度
消 防 庁 長 官	功 勞 章							
	永年勤続功労章	1	1		1		1	2
千 葉 県 知 事	文 化 功 勞 章							
	特 別 功 勞 章	1						
	永年勤続功労章						1	
	功 勞 章			1	1	1	1	1
	精 勤 章	1			1	1		1
千葉県防災対策監	防 災 対 策 監 章	3		12	12	2	6	10
日 本 消 防 協 会 長	勤 続 章	9	7	1	5		5	
	功 績 章							
	精 績 章				1			
千葉県消防協会長	永年勤続功労章	2	1	24	12	4	2	2
	特 別 功 勞 章							
	功 績 章							
	功 勞 章	1		1				
	精 勤 章	1		2	2	3	3	3
	感 謝 状							
君 津 支 部 長	特 別 功 勞 章	4	1			1		
	功 勞 章	3	25		2	3	5	5
	感 謝 状			2			2	
全 国 消 防 長 会	優 良 職 員 表 彰	1				1		
	永年勤続 (40)	1			1			4
	永年勤続 (35)		9	7	12			
	永年勤続 (30)	10	8	3	1	5		4
	永年勤続 (25)	5		3				
	永年勤続 (20)	2	1	2		2	2	
君 津 市 消 防 長	永年勤続功労章		2		2	5	9	7
	精 勤 章	9	7	2	1		1	
君 津 市 消 防 団 長	感 謝 状			2			2	

消防庁舎の現況

署別 区分		消防本部・本署	小糸分署	上総分署	松丘分署
所在地		君津市 杵 師 3丁目1番25号	君津市 鎌 滝 441番地	君津市 久留里市場 384番地	君津市 広 岡 1795-1番地
建築年月		平成5年9月	昭和48年2月	昭和47年4月	平成20年3月
構 造		鉄骨 鉄筋コンクリート造 3階建	鉄筋 コンクリート造壁式 一部2階建	鉄筋 コンクリート造壁式 一部2階建	鉄骨造 一部タイル張 一部2階建
規 模	敷地面積	8,881.26㎡	1,662.00㎡	1,315.92㎡	1,410.21㎡
	建築面積	1,965.48㎡	154.49㎡	142.84㎡	344.71㎡
	延床面積	3,756.89㎡	169.43㎡	164.53㎡	499.14㎡

消防車両等の配置状況

所 属	車両名称	車 名	年 式	登録番号	エンジン	車 体		
					排気量	全長(m)	全幅(m)	全高(m)
消 防 本 部	消防長車	ト ヨ タ	平成22年	袖 300 ひ 7015	1,490	4.44	1.72	1.49
	連絡1号車	ニッサン	平成14年	袖 800 さ 4358	1,760	4.41	1.69	1.71
	連絡2号車	マ ツ ダ	平成12年	袖 800 さ 2860	1,830	4.68	1.69	1.70
	人員搬送車	ミツビシ	平成 2年	袖 22 さ 1493	3,900 (D)	6.95	1.99	2.75
	資機材搬送車	ミツビシ	平成12年	袖 800 さ 1295	5,240 (D)	6.73	2.17	2.70
	査察1号車	ニッサン	平成10年	袖 88 な 3465	1,490	4.29	1.66	1.64
	査察2号車	ニッサン	平成21年	袖800 さ 9986	1,990	4.71	1.69	2.03
	広報車	ト ヨ タ	平成15年	袖 800 さ 5913	1,990	4.74	1.69	2.23

所属	車両名称	車 名	年 式	登録番号	エンジン	車 体		
					排気量	全長(m)	全幅(m)	全高(m)
本署	指揮車	スズキ	平成 8年	袖 88 な 2670	1,590	3.97	1.63	1.83
	連絡 3 号車	マツダ	平成15年	袖 800 さ 5917	1,780	4.28	1.69	2.20
	梯子車	ヒノ	平成 5年	袖 88 や 1246	17,230 (D)	10.86	2.49	3.55
	救助工作車	三菱	平成13年	袖 800 は 120	8,200 (D)	7.52	2.30	3.15
	普通 1 号車	三菱	平成19年	袖 800 は 513	7,545 (D)	7.33	2.30	3.00
	大型化学車	三菱	平成 4年	袖 88 や 1064	16,750 (D)	9.72	2.49	3.08
	泡原液搬送車	三菱	平成 7年	袖 88 や 1446	8,200 (D)	6.62	2.46	2.85
	大型高所放水車	三菱	昭和57年	千 88 に 3976	14,880 (D)	11.96	2.49	3.50
	普通 6 号車	三菱	平成11年	袖 800 さ 72	8,200 (D)	6.40	2.32	2.50
	普通 4 号車	ヒノ	平成10年	袖 88 さ 9831	7,960 (D)	6.51	2.30	2.78
	救急 2 号車	トヨタ	平成13年	袖 800 さ 4121	3,370	5.61	1.80	2.55
	救急 5 号車	トヨタ	平成19年	袖 800 な 5	2,690	5.64	1.88	2.56
	救急 6 号車	ニッサン	平成20年	袖 830 め 6	3,490	5.64	1.90	2.47
	林野火災対策車	ニッサン	昭和62年	袖 88 さ 1233	3,950	5.04	1.80	2.25
小糸分署	普通 3 号車	ヒノ	平成 6年	袖 88 さ 4685	7,410 (D)	6.46	2.22	2.70
	積載 2 号車	イズ	平成 7年	袖 88 さ 6014	3,050 (D)	4.82	1.69	2.55
	救急 3 号車	ニッサン	平成16年	袖 800 さ 6981	3,490	5.64	1.90	2.47
上総分署	普通 2 号車	ヒノ	平成20年	袖 830 ほ 119	6,400 (D)	7.00	2.30	2.92
	積載 1 号車	イズ	平成 6年	袖 88 さ 5109	3,050 (D)	4.88	1.69	2.45
	救急 4 号車	ニッサン	平成18年	袖 800 さ 7937	3,490	5.64	1.90	2.55
松丘分署	普通 7 号車	ヒノ	平成20年	袖 830 ま 119	4,000 (D)	5.73	1.88	2.60
	普通 8 号車	ヒノ	平成22年	袖 830 め 119	6,400 (D)	6.90	2.26	3.10
	救急 1 号車	トヨタ	平成20年	袖 802 ふ 1	2,690	5.64	1.89	2.49
	連絡 4 号車	ニッサン	平成21年	袖 830 な 4	1,990	4.77	1.69	2.03

※ (D) は、ディーゼル車をいう。

応援協定等の締結状況

協定等の名称	協定締結年月日	締結機関名	協定の目的・内容
千葉県広域消防相互応援協定	平成 4年 4月 1日	県下市町村及び一部事務組合の消防機関	大規模災害、産業災害その他の災害の予防鎮圧等に万全を期す
千葉県水道災害相互応援協定	平成 7年11月 2日	県内の水道事業体及び水道用水供給事業体並びに下総町、大栄町、山武町及び芝山町	地震、異常渇水等の水道災害が発生した場合、県内の水道事業体及び水道用水供給事業体が県の調整の下に応援活動を行う
救急救命処置に関する協定	平成 7年12月28日	君津郡市中央病院組合	救急救命処置の指示
災害時における千葉県内市町村間の相互応援に関する基本協定	平成 8年 2月23日	千葉県及び県内 80 市町村	被害者の救出及び食料物資の供給等
災害時における物資の供給に関する協定	平成 8年 4月 1日	(株)ジョイフル本田	応急生活物資供給
	平成 8年 4月 1日	(株)イトーヨーカ堂	
	平成 9年 2月28日	生活協同組合ちばコープ	
君津市、草津市災害支援・友好交流基本協定	平成 9年 3月 7日	滋賀県草津市	相互応援体制の確立を図り、情報交換や調査研究を行う
災害時における君津郵便局・君津市間の協力に関する覚書	平成 9年 9月26日	君津郵便局	災害時の特別郵政事業、避難場所物資集積場所等の提供、被災状況等の情報提供
(社)日本水道協会千葉県支部災害時相互応援に関する協定	平成10年 5月18日	(社)日本水道協会	地震、異常渇水等の災害が発生した場合、速やかに給水能力を回復できるように、(社)日本水道協会の会員間において相互援助活動を行う
災害時における応急生活物資等の供給に関する協定	平成11年 3月31日	(社)千葉県エルピーガス協会 木更津支部	災害時における応急生活物資等の供給
災害時における燃料等の供給に関する協定	平成11年 6月 3日	千葉県石油商業協同組合君津支部	災害時の燃料供給等
災害時の医療救護活動に関する協定	平成12年 4月 1日	(社)君津木更津医師会	災害時における医療救護活動
災害時における飲料水確保のための応急作業に関する協定	平成12年 9月 1日	君津市管工事業協同組合	災害が発生し、破損された水道施設の復旧に関して協力を行う
災害時の救護支援活動に関する協定	平成14年 5月 8日	君津木更津薬剤師会	災害時における医療活動の救護支援

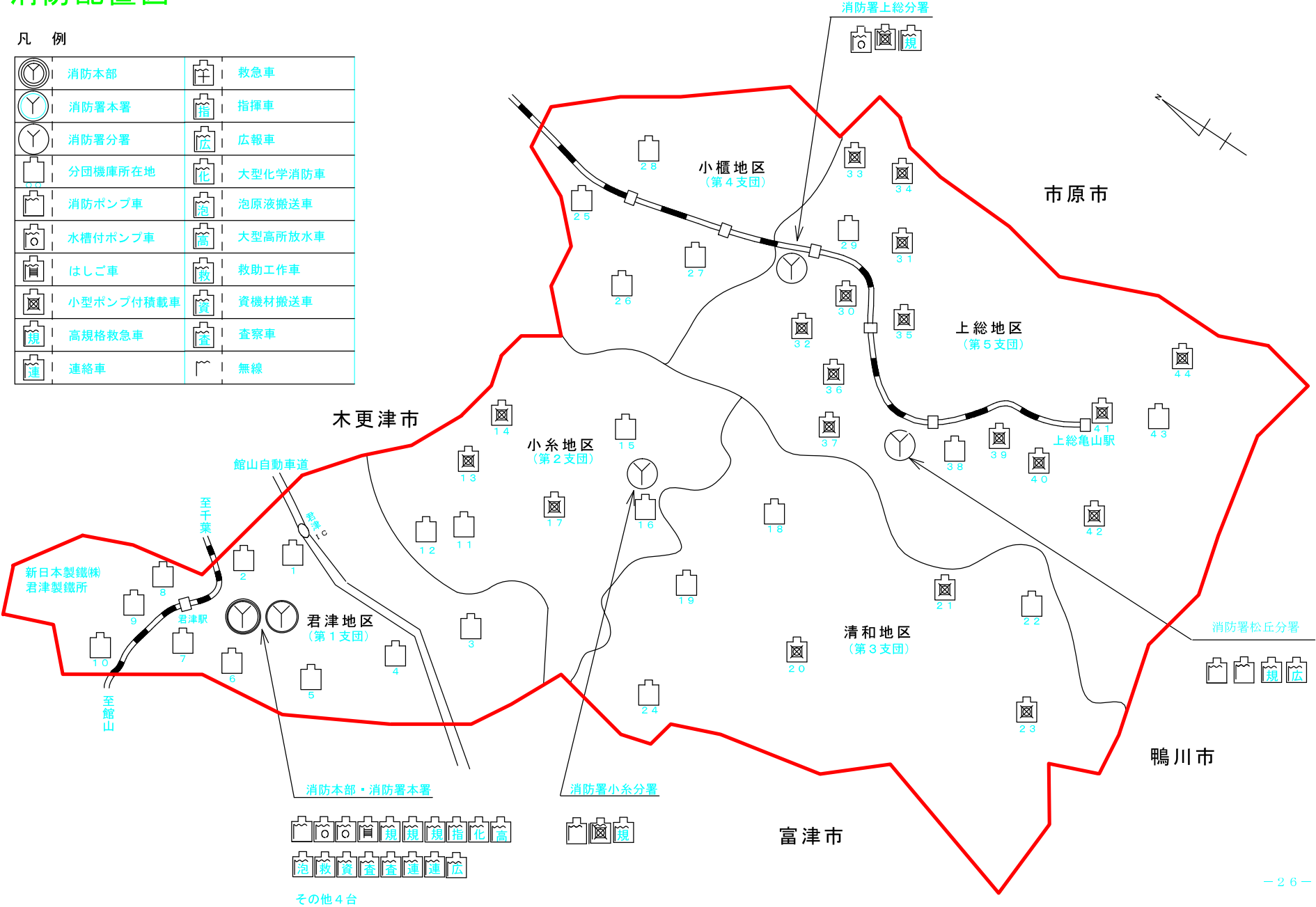
応援協定等の締結状況

協定等の名称	協定締結年月日	締結機関名	協定の目的・内容
地震、風水害、雪害その他の災害時における応急措置に関する協定	平成16年 5月11日	君津建設業協同組合	公共土木施設等の応急復旧措置による機能の確保等
救急救命士気管挿管に関する病院実習協定書	平成16年 9月16日	君津郡市中央病院組合	気管挿管に関する病院実習
救急救命士薬剤投与に関する病院実習協定書	平成18年 6月26日	君津中央病院企業団	薬剤投与（エピネフリン）に関する病院実習
館山自動車道消防相互応援協定	平成19年 7月 4日	県内6市	消防に関する相互応援
地震、風水害、雪害その他の災害時における応急処置に関する協定	平成19年 7月 5日	君津造園建設業協同組合	災害が発生し、または発生するおそれがある場合、応急処置を行う。
災害時における物資の供給に関する協定	平成20年 3月 3日	(株)ダイエー	応急生活物資供給
大規模停電発生時における君津市防災行政無線の活用に関する協定	平成20年 7月 1日	東京電力株式会社 木更津支社	電力供給に係る広域的な停電が発生した場合に市民等への広報をするため、君津市防災行政無線の活用をする
地震、風水害、その他の災害における、応急措置に関する協定	平成20年11月 5日	君津市電業組合	同市の管理する施設の機能を確保し、又は施設の機能を回復させる事
鉄道災害時における鉄道軌道事業者と消防機関との連携に関する協定書	平成21年 3月31日	県内の消防本部（局）と県内で運行する鉄道軌道事業者	安全かつ迅速な消防活動と公共交通機関としての列車運行の早期復旧を図るため

消防配置図

凡 例

	消防本部		救急車
	消防署本署		指揮車
	消防署分署		広報車
	分団機庫所在地		大型化学消防車
	消防ポンプ車		泡原液搬送車
	水槽付ポンプ車		大型高所放水車
	はしご車		救助工作車
	小型ポンプ付積載車		資機材搬送車
	高規格救急車		査察車
	連絡車		無線



消 防 団

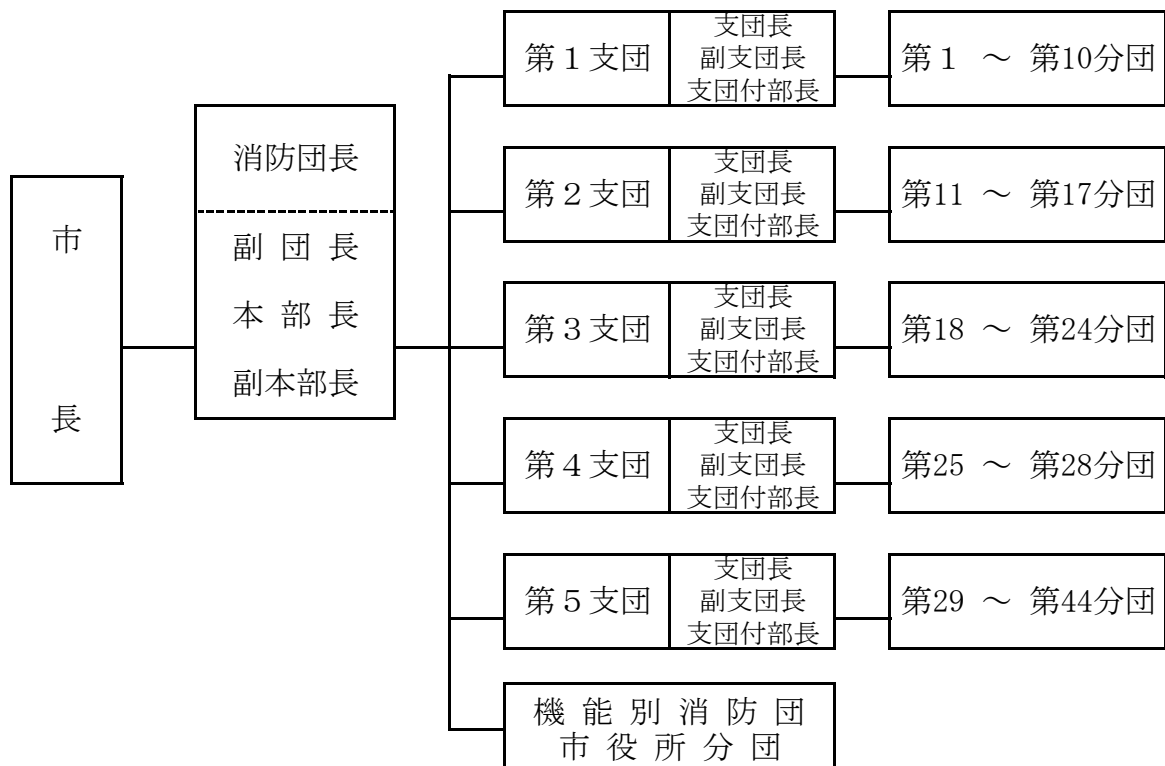


第34回君津市消防団消防操法大会開会式

消防団員の配置状況

平成22年4月1日現在

所属 階級	団本部	市役所分団	第1支団	第2支団	第3支団	第4支団	第5支団	計
条例等定数	6	30	232	147	136	126	321	998
実数	6	30	233	147	120	117	289	942
団長	1							1
副団長	2							2
本部長	1							1
副本部長	2							2
支団長			1	1	1	1	1	5
副支団長			2	2	2	2	2	10
支団付部長			5	3	3	3	6	20
分団長		1	10	7	7	4	16	45
副分団長		1	10	7	7	4	16	45
部長		2	20	14	14	8	32	90
団員		26	185	113	86	95	216	721



消防団受持区域

単位：k m²

支団	分 団	受 持 区 域	区域面積
第一支団	第1分団	三直、内箕輪、内箕輪1丁目、法木作、法木作1丁目、外箕輪、外箕輪1～4丁目、八重原、畑沢飛地、内箕輪・外箕輪・法木作入会	5.53
	第2分団	南子安、南子安1～9丁目、北子安、北子安1～6丁目、杵師、杵師1～5丁目、北子安飛地、久保飛地	4.44
	第3分団	六手、皿引、尾車、草牛、馬登	9.00
	第4分団	宮下、宮下1～2丁目、小山野、常代、常代1～6丁目、浜子、大山野、作木、山高原	8.36
	第5分団	貞元、八幡、杉谷、新御堂、郡、郡1～3丁目	5.05
	第6分団	小香、上湯江、下湯江、中富(伽欄及び沢向を除く)、下湯江飛地、中野飛地	4.46
	第7分団	中野、中野1～6丁目、久保、久保1～5丁目、北久保1～2丁目、南久保1～3丁目、台1～2丁目、陽光台1～3丁目	2.18
	第8分団	坂田、東坂田1～4丁目、西坂田1～4丁目、君津台1～3丁目、高坂	2.75
	第9分団	大和田、大和田1～5丁目、人見(神門を除く)、人見1～5丁目、中富(伽欄及び沢向)	1.94
	第10分団	人見(神門)、君津、西君津	9.45
第二支団	第11分団	中島、白駒	3.88
	第12分団	泉	1.59
	第13分団	上、練木、大鷲、大鷲新田、大井、上・大鷲・大鷲新田入会	5.95
	第14分団	行馬、根本、小糸大谷、長石、法木、かずさ小糸、糠田飛地	11.21
	第15分団	大井戸、糸川、大野台	10.63
	第16分団	鎌滝、福岡、荻作、鬼汨	6.62
	第17分団	塚原、糠田	1.59
第三支団	第18分団	西栗倉、東栗倉、東猪原、西猪原、東猪原・西猪原入会、東日笠・東栗倉入会	9.46
	第19分団	清和市場、市宿、日渡根	3.20
	第20分団	平田、植畑、西日笠、市場・西栗倉・平田・植畑・西日笠入会、植畑外・四村入会	11.28
	第21分団	東日笠、二入、辻森、大岩	5.23
	第22分団	正木、奥米、宿原	12.12
	第23分団	怒田沢、旅名、豊英旧倉沢、豊英旧奥畑	16.52
	第24分団	鹿野山	5.91

単位：k m²

支団	分 団	受 持 区 域	区域面積
第 四 支 団	第25分団	山本、西原、賀恵淵	6.05
	第26分団	戸崎、岩出、寺沢、田川飛地	13.24
	第27分団	青柳、箕輪、上新田、俵田	5.01
	第28分団	末吉、三田、長谷川、小櫃台、吉野錯綜地	8.00
第 五 支 団	第29分団	久留里市場、小市部、久留里、浦田(戸張)	3.56
	第30分団	浦田(戸張を除く)	4.25
	第31分団	怒田(福野を除く)	7.41
	第32分団	向郷、久留里大和田、富田、愛宕、栗坪、芋窪、寺沢錯綜地	6.00
	第33分団	久留里大谷、吉野	4.97
	第34分団	川谷、怒田(福野)	5.86
	第35分団	平山	2.86
	第36分団	山滝野	6.23
	第37分団	大坂	7.24
	第38分団	広岡	3.27
	第39分団	大戸見	3.87
	第40分団	大戸見旧名殿、柳城、利根、加名盛、大中、豊田飛地、 加名盛飛地、豊田旧菅間田飛地、台錯綜地	11.42
	第41分団	藤林、草川原、川俣旧川俣、川俣旧月毛、川俣旧押込、 豊田旧菅間田、豊田旧野中、川俣飛地、藤林飛地、高水	4.60
	第42分団	笹、香木原、笹飛地	25.32
	第43分団	折木沢、坂畑、滝原	14.88
	第44分団	黄和田畑、蔵玉、釜生、蔵玉・釜生入会	16.44

機能別消防団 市役所分団	中野、中野1～6丁目、久保、久保1～5丁目、北久保1～2丁目、南久保1～3丁目、台1～2丁目、陽光台1～3丁目	2.18
-----------------	---	------

消防団員の勤続年数

平成22年4月1日現在

階 級 (職 名) 勤 続 年 数	団 長	副 団 長					分 団 長		副 分 団 長	部 長	団 員	計
		副 団 長	本 部 長	副 本 部 長	支 団 長	副 支 団 長	支 団 付 部 長	分 団 長				
5年未満								1	2	12	437	452
5年以上10年未満							6	18	20	42	180	266
10年以上15年未満					2	8	10	21	20	35	76	172
15年以上20年未満			1	2	2	1	3	4	3	1	26	43
20年以上25年未満		2			1	1	1	1			2	8
25年以上30年未満												0
30年以上	1											1
計	1	2	1	2	5	10	20	45	45	90	721	942

消防団員の報酬・出動手当

職 名	報 酬 (年 額)
団 長	250,000 円
副 団 長	166,000 円
本 部 長	145,000 円
副 本 部 長	133,000 円
支 団 長	133,000 円
副 支 団 長	113,000 円
支 団 付 部 長	81,000 円
分 団 長	78,000 円
副 分 団 長	58,000 円
部 長	29,000 円
団 員	21,000 円

機能別消防団員	支給なし
---------	------

出 動 手 当
年 額 6,000 円 〔 水火災、その他の 災害、警戒、訓練 に出動した場合 〕

消防団員の年齢別階級

平成22年4月1日現在

職 名 年 齢	団 長	副 団 長	本 部 長	副 本 部 長	支 団 長	副 支 団 長	支 団 付 部 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	団 員	計
18歳											2	2
19歳											4	4
20歳											5	5
21歳											12	12
22歳											13	13
23歳											31	31
24歳											38	38
25歳											44	44
26歳										1	58	59
27歳										3	45	48
28歳										3	41	44
29歳								1		1	56	58
30歳							1			2	68	71
31歳									2	5	50	57
32歳								5	4	12	44	65
33歳								2	6	9	34	51
34歳							2	2	5	13	42	64
35歳								6	7	14	36	63
36歳							5	9	10	10	32	66
37歳								7	3	2	19	31
38歳							3	3	3	7	11	27
39歳						4	4	2	1	4	9	24
40歳					1	2		3	2	1	12	21
41歳				1		1	1	3		1	7	14
42歳					1	1	3	1		1	2	9
43歳					1		1			1	1	4
44歳					1	1			1		3	6
45歳					1				1		1	3
46歳						1						1
47歳		1	1									2
48歳				1								1
49歳												0
50歳												0
51歳											1	1
52歳		1										1
53歳	1							1				2
54歳												0
55歳以上												0
計	1	2	1	2	5	10	20	45	45	90	721	942
平均	53歳	49歳	47歳	44歳	42歳	40歳	37歳	36歳	35歳	34歳	30歳	32歳

消防団車両配置状況

所属	分団名	車 名	年 式	登録番号	ポンプ 性 能	エンジン 排気量	車 体		
							全長(m)	全幅(m)	全高(m)
第一支団	1 分団	ニッサン	平成 6年	袖 88 さ 5174	A 2 級	4,160	5.46	1.81	2.40
	2 分団	ニッサン	平成 2年	袖 88 さ 2465	A 2 級	4,160	5.30	1.80	2.35
	3 分団	ヒ ノ	平成18年	袖800 さ 7872	A 2 級	4,000 (D)	5.50	1.88	2.45
	4 分団	ニッサン	平成 8年	袖 88 さ 6160	A 2 級	4,160	5.40	1.81	2.44
	5 分団	ニッサン	平成 2年	袖 88 さ 2827	A 2 級	4,160	5.30	1.80	2.35
	6 分団	ニッサン	平成 8年	袖 88 さ 6161	A 2 級	4,160	5.40	1.81	2.44
	7 分団	ト ヨ タ	平成22年	袖800 す 93	A 2 級	4,000 (D)	5.50	1.88	2.43
	8 分団	ヒ ノ	平成20年	袖800 さ 9108	A 2 級	4,000 (D)	5.45	1.88	2.55
	9 分団	ニッサン	平成 5年	袖 88 さ 4054	A 2 級	4,160	5.30	1.80	2.35
	10 分団	ニッサン	平成 3年	袖 88 さ 3382	A 2 級	4,160	5.30	1.80	2.20
第二支団	11 分団	ト ヨ タ	平成22年	袖800 す 92	A 2 級	4,000 (D)	5.50	1.88	2.43
	12 分団	ニッサン	平成 6年	袖 88 さ 4671	A 2 級	4,160	5.35	1.80	2.35
	13 分団	ニッサン	平成 2年	袖 88 さ 2484	B 2 級	1,950	4.86	1.69	2.25
	14 分団	ニッサン	平成 4年	袖 88 さ 3490	B 2 級	1,990	4.91	1.69	2.25
	15 分団	ヒ ノ	平成16年	袖800 さ 7028	A 2 級	4,000 (D)	5.55	1.89	2.50
	16 分団	ニッサン	平成 8年	袖 88 さ 6325	A 2 級	4,160	5.30	1.80	2.35
	17 分団	ニッサン	平成 6年	袖 88 さ 4712	B 2 級	1,990	4.89	1.69	2.35
第三支団	18 分団	ミツビシ	平成19年	袖800 さ 8602	A 2 級	4,890 (D)	5.50	1.88	2.50
	19 分団	ニッサン	昭和63年	袖 88 さ 1895	A 2 級	4,160	5.28	1.80	2.30
	20 分団	ニッサン	平成 2年	袖 88 さ 2485	B 2 級	1,950	4.86	1.69	2.25
	21 分団	ニッサン	平成 8年	袖 88 さ 6326	B 2 級	1,990	4.89	1.69	2.50
	22 分団	ト ヨ タ	平成21年	袖800 さ 9628	A 2 級	4,000 (D)	5.33	1.88	2.42
	23 分団	ニッサン	平成10年	袖 88 さ 8750	B 2 級	1,990	4.87	1.65	2.45
	24 分団	ニッサン	平成 6年	袖 88 さ 4672	A 2 級	4,160	5.35	1.80	2.35

所属	分団名	車 名	年 式	登録番号	ポンプ 性 能	エンジン 排気量	車 体		
							全長 (m)	全幅 (m)	全高 (m)
第四支団	25 分団	ト ヨ タ	平成 9年	袖 88 さ 8556	A 2 級	4, 160 (D)	5. 52	1. 81	2. 30
	26 分団	ト ヨ タ	平成 9年	袖 88 さ 8557	A 2 級	4, 160 (D)	5. 52	1. 81	2. 30
	27 分団	ト ヨ タ	平成 9年	袖 88 さ 8558	A 2 級	4, 160 (D)	5. 52	1. 81	2. 30
	28 分団	ニッサン	平成 1年	袖 88 さ 2280	A 2 級	4, 160	5. 30	1. 80	2. 35
第五支団	29 分団	ニッサン	平成 5年	袖 88 さ 4026	A 2 級	4, 160	5. 45	1. 81	2. 36
	30 分団	ニッサン	平成 6年	袖 88 さ 5105	B 2 級	1, 990	4. 89	1. 69	2. 35
	31 分団	ニッサン	平成19年	袖800 さ 8499	B 2 級	1, 990	5. 00	1. 69	2. 33
	32 分団	ニッサン	平成 6年	袖 88 さ 5106	B 2 級	1, 990	4. 89	1. 69	2. 35
	33 分団	ニッサン	平成20年	袖800 さ 9080	B 2 級	1, 990	5. 01	1. 69	2. 38
	34 分団	ニッサン	平成 5年	袖 88 さ 4055	B 2 級	1, 990	4. 89	1. 69	2. 35
	35 分団	ニッサン	平成 3年	袖 88 さ 2910	B 2 級	1, 990	4. 86	1. 69	2. 30
	36 分団	ニッサン	平成 8年	袖 88 さ 6231	B 2 級	1, 990	4. 89	1. 69	2. 50
	37 分団	ニッサン	平成 2年	袖 88 さ 2836	B 2 級	1, 990	4. 86	1. 69	2. 30
	38 分団	ニッサン	平成 6年	袖 88 さ 5175	A 2 級	4, 160	5. 46	1. 81	2. 40
	39 分団	ニッサン	平成 2年	袖 88 さ 2830	B 2 級	1, 990	4. 86	1. 69	2. 30
	40 分団	ニッサン	平成 1年	袖 88 さ 1984	B 2 級	1, 950	4. 86	1. 69	2. 25
	41 分団	ニッサン	平成 2年	袖 88 さ 2486	B 2 級	1, 950	4. 86	1. 69	2. 25
	42 分団	ニッサン	平成 5年	袖 88 さ 4056	B 2 級	1, 990	4. 89	1. 69	2. 35
	43 分団	ニッサン	平成 8年	袖 88 さ 6366	A 2 級	4, 160	5. 30	1. 80	2. 35
	44 分団	ニッサン	平成 3年	袖 88 さ 3383	B 2 級	1, 990	4. 90	1. 69	2. 22

※ (D) は、ディーゼル車をいう。

消 防 団 員 の 表 彰 状 況

平成 22 年 4 月 1 日現在

表 彰 区 分 年 度 別		15 年 度	16 年 度	17 年 度	18 年 度	19 年 度	20 年 度	21 年 度
消 防 庁 長 官	功 勞 章							
	永年勤続功労章		1	1		1		
千 葉 県 知 事	特 別 功 労 章							
	永年勤続功労章	1	1	1				
	功 勞 章	2	2	1	2	1	1	4
	精 勤 章	6	6	5	5	5	7	7
日 本 消 防 協 会 長	功 績 章	2	1			1	1	1
	精 績 章	2	1	2	1	2		
	勤 続 章							1
千 葉 県 消 防 協 会 長	特 別 功 労 章		1			1		
	永年勤続功労章	1			1			
	功 績 章		1		1	1		2
	功 勞 章	3	4	3	4	4	4	4
	精 勤 章	11	12	10	10	9	9	9
千 葉 県 防 災 対 策 監	防 災 対 策 監 章	12	16	4	3	13	10	5
君 津 支 部 長	特 別 功 労 章	11	11	11	11	11	11	11
	功 勞 章	23	1	26	25	23	22	22
君 津 市 長	功 勞 章	44	43	42	84	75	74	72
	感 謝 状			1	11		6	
消 防 団 長	功 勞 章	43	42	43	76	70	57	70
	感 謝 状	35	1	36	1	40	1	

予 防



消 防 用 設 備 等 設 置 状 況

平成22年3月31日現在

対象区分（項）			消防用設備の種類	自報 動知 火設 災備	ス ラ ブ ー リ ン グ 備	屋 栓 内 設 消 火 備	漏 警 電 報 火 災 器	水 消 火 噴 霧 備	非 報 常 設 警 備	屋 栓 外 設 消 火 備	避 難 器 具	排 煙 設 備	誘 導 灯	非 セ 常 コ ン ト	消 防 用 水	連 結 送 水 管	非 常 電 源
1	イ	劇場、映画館、観覧場		4	1	3			3		1	1	3				3
	ロ	公会堂又は集会場		34	1	9			27		4	1	39				11
2	ロ	遊技場又はダンスホール		11	1	4			10		1		12				3
	ニ	カラオケボックス インターネットカフェ		8					1		1		7				
3	ロ	飲食店		23		1	1		33		8		65				1
4		百貨店、マーケット		88	3	6		3	55	4	4	2	149				8
5	イ	旅館、ホテル又は宿泊所		42	2	16	3	1	24	2	8		52			1	18
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅		81		74	3	9	17		42		24	17		11	17
6	イ	病院、診療所又は助産所		17	2	4			11		6		27				5
	ロ	老人短期入所施設、 養護・特別養護老人ホーム		12	8	2			8		4	1	12			3	17
	ハ	老人デイサービスセンター、 軽費老人ホーム		30	2	7	6		5		3		28				2
	ニ	幼稚園、特別支援学校		7		2			5		3		5				
7		小・中・高等学校、大学		129		46			25		5		27			1	64
8		図書館、博物館、美術館		6		1			2		1		5				
9	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場		3					1				5				
10		車両の停車場又は飛行場		1		1							1				
11		神社、寺院、教会		2				1	3		1		3				
12	イ	工場又は作業場		156		12		4	1	6	1		31		9	2	93
13	イ	自動車車庫又は駐車場		6				9					3				1
14		倉庫		40	1	3				2	1		8				14
15		前各項に該当しない事業場		116	1	16	1	11	41		8	1	91	1		1	47
16	イ	複合用途(1～4.5ｲ.6.9ｲ)		69	3	9		5	49		30	3	114			2	9
	ロ	イに掲げる複合用途以外のもの		12		1		1	1		4		22				1
計				897	25	217	14	44	322	14	136	9	733	18	9	21	314

業 態 別 ・ 階 層 別 防 火 対 象 物

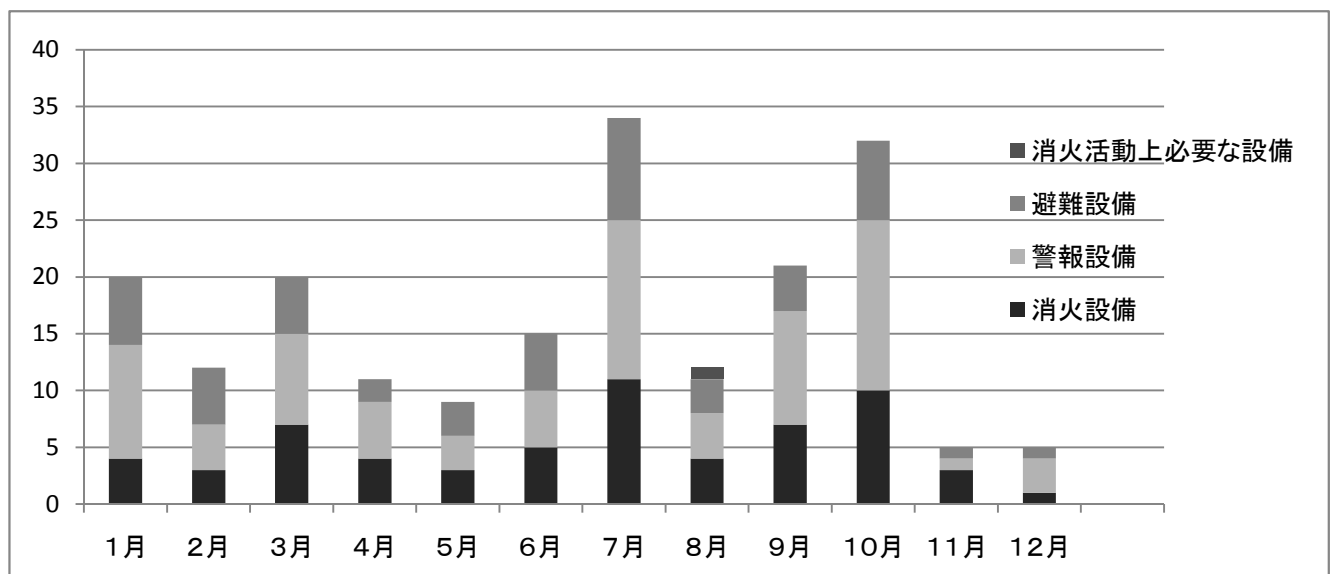
平成 2 2 年 3 月 3 1 日現在

階 層 別 防火対象物の別			地上 5 階未満	5	6	7	8	9	10	11階 以上	地階	合 計
1	イ	劇場、映画館、観覧場	4								(2)	4
	ロ	公会堂又は集会場	50									50
2	ロ	遊技場又はダンスホール	12									12
	ニ	カラオケボックス・インターネットカフェ	9									9
3	イ	待合、料理店										
	ロ	飲食店	83									83
4		百貨店、マーケット	161								(1)	161
5	イ	旅館、ホテル又は宿泊所	60		1			1			(5)	62
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	786	30	10	7	3		1	19	(5)	856
6	イ	病院、診療所又は助産所	36								(1)	36
	ロ	老人短期入所施設、 養護・特別養護老人ホーム	11	1		1		1	1		(1)	15
	ハ	老人デイサービスセンター、 軽費老人ホーム	47								(4)	47
	ニ	幼稚園、特別支援学校	7									7
7		小・中・高等学校、大学	163		1						(1)	164
8		図書館、博物館、美術館	7								(2)	7
9	イ	公衆浴場のうち特殊浴場										
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	5									5
10		車両の停車場又は飛行場	1									1
11		神社、寺院、教会	8									8
12	イ	工場又は作業場	555	1			1			2	(3)	559
	ロ	映画、テレビスタジオ										
13	イ	自動車車庫又は駐車場	13									13
	ロ	飛行機、回転翼機の格納庫										
14		倉 庫	129									129
15		前各項に該当しない事業場	386	4						1	(8)	391
16	イ	複合用途(1～4.54.6.9イ)	172	9	3	1			1		(7)	186
	ロ	イに掲げる複合用途以外のもの	47	1							(1)	48
17		重要文化財、民俗、史跡	2									2
計			2,754	46	15	9	4	2	3	22	(41)	2,855

※地階の件数は、地上 5 階未満から 1 1 階以上の件数に含まれる。

消防用設備等届出受理件数（21年中）

種 別 \ 月 別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
消 火 設 備	消火器	3	2	5	3	2	5	8	3	6	7	3	1	48
	屋内消火栓設備	1	1	1	1			1		1	2			8
	スプリンクラー設備			1		1								2
	泡消火設備													
	不活性ガス（窒素）消火設備													
	粉末消火設備							1	1					2
	屋外消火栓設備							1			1			2
	動力消防ポンプ設備													
警 報 設 備	自動火災報知設備	10	2	6	3	3	4	13	2	8	10	1	2	64
	ガス漏れ火災警報設備										1			1
	消防機関に通報する火災報知設備				1						1			2
	漏電火災警報器													
	非常警報設備			2			1				1			4
	非常放送設備		2		1			1	2	2	2		1	11
避 難 設 備	避難器具	1			1									2
	誘導標識	2	1	2			1	1	1	2				10
	誘導灯	3	4	3	1	3	4	8	2	2	7	1	1	39
消 必 火 要 活 な 動 施 上 設	排煙設備													
	連結散水設備													
	連結送水管								1					1
	非常コンセント設備													
計		20	12	20	11	9	15	34	12	21	32	5	5	196



消防法第7条に基づく月別同意件数（21年中）

月 別 対象区分（項）			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
1	イ	劇場、映画館、観覧場													
	ロ	公会堂又は集会場							1						
2	ロ	遊技場又はダンスホール													
	ニ	カラオケボックス インターネットカフェ													
3	イ	待合、料理店													
	ロ	飲食店								2					
4		百貨店、マーケット		1				1		1	2				
5	イ	旅館、ホテル又は宿泊所						1							
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅		1		1		2	2	1		1		3	
6	イ	病院、診療所又は助産所						1	1						
	ロ	老人短期入所施設、 養護・特別養護老人ホーム	1												
	ハ	老人デイサービスセンター、 軽費老人ホーム		1			2		1						
	ニ	幼稚園、特別支援学校													
7		小・中・高等学校、大学							1		1			1	
8		図書館、博物館、美術館													
9	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場													
10		車両の停車場又は飛行場													
11		神社、寺院、教会													
12	イ	工場又は作業場				1							1		
13	イ	自動車車庫又は駐車場													
14		倉庫	2		1		1	2	2			1	1	2	
15		前各項に該当しない事業場	3	1	1	5	4	4	2	3	5	3	3	4	
16	イ	複合用途(1～4. 5イ. 6. 9イ)													
	ロ	イに掲げる複合用途以外のもの				1									
専 住		専用住宅		1	1	4	2	3	2	2	1		1		
計			6	5	3	12	9	14	12	9	9	5	6	10	100

甲 種 防 火 管 理 者 選 任 等 の 状 況

平成22年3月31日現在

対象区分（項）			法第8条 該当防火 対象物数	防 火 管 理 者 届出済対象物		消 防 計 画 届出済対象物	
				届出数	比率（％）	届出数	比率（％）
1	イ	劇場、映画館、観覧場	4	4	100.00	4	100.00
	ロ	公会堂又は集会場	33	31	93.94	31	93.94
2	ロ	遊技場又はダンスホール	10	10	100.00	10	100.00
	ニ	カラオケボックス・インターネットカフェ	5	4	80.00	4	80.00
3	ロ	飲食店	26	23	88.46	22	84.62
4		百貨店、マーケット	88	74	84.09	72	81.82
5	イ	旅館、ホテル又は宿泊所	41	38	92.68	39	95.12
	ロ	寄宿舍、下宿又は共同住宅	94	75	79.79	61	64.89
6	イ	病院、診療所又は助産所	15	14	93.33	13	86.67
	ロ	老人短期入所施設、 養護・特別養護老人ホーム	12	12	100.00	12	100.00
	ハ	老人デイサービスセンター、 軽費老人ホーム	31	31	100.00	31	100.00
	ニ	幼稚園、特別支援学校	7	7	100.00	7	100.00
7		小・中・高等学校、大学	44	44	100.00	43	97.73
8		図書館、博物館、美術館	6	6	100.00	6	100.00
9	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	3	3	100.00	2	66.67
11		神社、寺院、教会	2	2	100.00	2	100.00
12	イ	工場又は作業場	20	18	90.00	17	85.00
13	イ	自動車車庫又は駐車場					
14		倉 庫	8	7	87.50	7	87.50
15		前各項に該当しない事業場	66	51	77.27	45	68.18
16	イ	複合用途(1～4.5ｲ.6.9ｲ)	95	75	78.95	70	73.68
	ロ	イに掲げる複合用途以外のもの	9	6	66.67	6	66.67
17		重要文化財、民俗、史跡					
計			619	535	86.43	504	81.42

乙種防火管理者選任等の状況

平成22年3月31日現在

対象区分（項）			法第8条 該当防火 対象物数	防火管理者 届出済対象物		消 防 計 画 届出済対象物	
				届出数	比率（%）	届出数	比率（%）
1	イ	劇場、映画館、観覧場					
	ロ	公会堂又は集会場	30	24	80.00	23	76.67
2	ロ	遊技場又はダンスホール					
	ニ	カラオケボックス・インターネットカフェ	3	3	100.00	3	100.00
3	ロ	飲食店	77	51	66.23	47	61.04
4		百貨店、マーケット	47	26	55.32	22	46.81
5	イ	旅館、ホテル又は宿泊所	5	5	100.00	5	100.00
	ロ	寄宿舍、下宿又は共同住宅					
6	イ	病院、診療所又は助産所					
	ロ	老人短期入所施設、 養護・特別養護老人ホーム					
	ハ	老人デイサービスセンター、 軽費老人ホーム	3	2	66.67	2	66.67
	ニ	幼稚園、特別支援学校					
7		小・中・高等学校、大学					
8		図書館、博物館、美術館					
9	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場					
11		神社、寺院、教会	2	0	0.00	0	0.00
12	イ	工場又は作業場	2	2	100.00	2	100.00
13	イ	自動車車庫又は駐車場					
14		倉庫	1	1	100.00	1	100.00
15		前各項に該当しない事業場	14	12	85.71	11	78.57
16	イ	複合用途(1～4.5イ.6.9イ)	49	24	48.98	23	46.94
	ロ	イに掲げる複合用途以外のもの	2	1	50.00	1	50.00
17		重要文化財、民俗、史跡					
計			235	151	64.26	140	59.57

防火対象物定期点検報告制度

平成22年3月31日現在

防火対象物の別			点検を要する防火対象物数		報告済 防火対象物	特例認定
			第1号該当	第2号該当		
1	イ	劇場、映画館、観覧場	4		1	3
	ロ	公会堂又は集会場	19		14	
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ				
	ロ	遊技場又はダンスホール	8		6	
	ニ	カラオケボックス・インターネットカフェ				
3	イ	待合、料理店				
	ロ	飲食店	1		1	
4		百貨店、マーケット	11		8	3
5	イ	旅館、ホテル又は宿泊所	5	1		4
6	イ	病院、診療所又は助産所	2			1
	ロ	老人短期入所施設、 養護・特別養護老人ホーム	3		1	2
	ハ	老人デイサービスセンター、 軽費老人ホーム	1			1
	ニ	幼稚園、特別支援学校	4			2
9	イ	公衆浴場のうち特殊浴場				
16	イ	複合用途(1～4. 5イ. 6. 9イ)	13		5	3
16の2		地下街				
計			71	1	36	19

類別危険物製造所等調

平成22年3月31日現在

製造所等の別 区 分		製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所					計
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	小計	
数 別	5倍以下	1	33	30	3	29		43	5	143	11			81	92	236
	5倍超え 10倍以下	1	6	12	4	12		1	5	40	10			32	42	83
	10倍超え 50倍以下	1	5	18		16		2	3	44	22			26	48	93
	50倍超え 100倍以下		4					2		6	9			7	16	22
	100倍超え 150倍以下		2	2						4	3				3	7
	150倍超え 200倍以下					1				1	7				7	8
	200倍超え 1,000倍以下	1	1							1	15			1	16	18
	1,000倍超え 5,000倍以下	1		6						6			2	1	3	10
	5,000倍超え 10,000倍以下			3						3			2		2	5
	10,000倍を 超えるもの			1						1						1
	計	5	51	72	7	58	0	48	13	249	77	0	4	148	229	483
類 別	第 1 類		2							2				0	0	2
	第 2 類									0				2	2	2
	第 3 類		1							1					0	1
	第 4 類	4	45	72	7	58		47	13	242	77		4	145	226	472
	第 5 類													1	1	1
	混 在	1	3							3						4

所在地別危険物施設

平成 22 年 3 月 31 日現在

地区別 施設別		君 津	小 糸	清 和	小 櫃	上 総	総 数
製 造 所		4				1	5
貯 蔵 所	屋内貯蔵所	47	3		1	1	52
	屋外タンク貯蔵所	54	4		4	10	72
	屋内タンク貯蔵所	5			1		6
	地下タンク貯蔵所	26	6	9		17	58
	簡易タンク貯蔵所						0
	移動タンク貯蔵所	18	9	2	3	16	48
	屋外貯蔵所	10	1			2	13
取 扱 所	給油取扱所	31	8	8	11	19	77
	販売取扱所						0
	移送取扱所	4					4
	一般取扱所	120	6	1	3	18	148
計		319	37	20	23	84	483

危険物関係の許可・認可・承認及び各種届出状況

平成 22 年 3 月 31 日現在

月 別 区 分		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	総 数
製造所等設置許可申請				1		2					1		2	6
製造所等変更許可申請		3	2	3	6	3	2	2	6	3	8		7	45
特 定 屋 外 タ ン ク	変更許可申請										1		1	2
	完成検査前検査申請（基礎・地盤）													0
	完成検査前検査申請（溶接部）												1	1
	定期保安検査申請											1		1
	臨時保安検査申請													0
タンク水張（圧）検査申請							1					1		2
完成検査申請		3	2	3	1	5	2	3	0	12	1	2	5	39
仮貯蔵・仮取扱・仮使用承認申請		1	5	3	5	1	4	4	6	3	7	1	5	45
予防規程認可申請			2								1			3
品名・数量変更届				1							1		1	3
危険物保安監督者選任・解任届		3	11	2	29	1	2	5	13	10	13			89
製造所等譲渡引渡届			1											1
製造所等廃止届			2	1		2	1			1			1	8
計		10	25	14	41	14	12	14	25	29	33	5	23	245

京葉臨海南部地区の防災体制

千葉県の石油コンビナート等特別防災区域は、東京湾沿岸部に沿って、京葉臨海北部地区、京葉臨海中部地区及び京葉臨海南部地区の3地区が指定されており、面積、石油貯蔵・取扱量及び高圧ガスの処理量の各合計はいずれも全国1位であり、わが国最大のコンビナート地帯を形成している。この3地区の石油コンビナートのうち、京葉臨海南部地区は、君津市及び隣接の木更津市に位置し、面積12,51km²、3の特定事業所〔第1種事業所2(レイアウト事業所2)第2種事業所1(木更津市)〕で構成されており、鉄鋼業主体の地区である。

1 特定事業所の概要

平成22年3月31日現在

事業所名	面積 (m ²)	石油の貯蔵・ 取扱量 (kℓ)	高圧ガスの 処理量 (Nm ³)	第4類以外 の危険物 (t)	可燃性ガス (Nm ³)
新日本製鐵株式会社 君津製鐵所	9,772,491	37,749	17,784,824	265	25,608,000
君津共同火力株式会社 君津共同発電所	141,936	58,009	4,555		
合 計	9,914,427	95,758	17,789,379	265	25,608,000

2 特定事業所・危険物製造所等調

平成22年3月31日現在

事業所名	製造所	屋 内 貯蔵所	屋 外 タンク	地 下 タンク	屋 外 貯蔵所	移 送 取扱所	一 般 取扱所	合 計
新日本製鐵株式会社 君津製鐵所	3	18	40	5	5	4	107	182
君津共同火力株式会社 君津共同発電所			5		1	1	3	10
合 計	3	18	45	5	6	5	110	192

3 防災資機材等

平成22年3月31日現在

区 分	屋 外 給 水 施 設	ホ ット ラ イン	無 線	防 災 要 員	大 型 化 学 車	大 型 高 所 放 水 車	泡 原 液 搬 送 車	大 型 化 学 高 所 放 水 車	甲 種 普 通 化 学 車	乙 種 普 通 化 学 車	放 水 銃 等	耐 熱 服	空 気 呼 吸 器	オ イ ル フ ェ ンス (m)	展 張 船	泡 消 火 薬 剤 (Kℓ)
君津市消防本部		1	1		1	1	1				6	5	19	300		7.80
京葉臨海南部地区共同防災組織		1	1	11			1	1			1	1	1	540	1	13.47
新日本製鐵株式会社君津製鐵所	2		1	4					1	1	2		5	1,080		11.72
君津共同火力株式会社 君津共同発電所	1		1	2							4	4	26	900		7.60
合 計	3	2	4	17	1	1	2	1	1	1	13	10	51	2,820	1	40.59

消 防 音 楽 隊 の 状 況

音楽隊は、昭和48年に隊長以下25名の隊員で発足、その後、平成3年、平成7年及び平成21年に隊員の入替えを行い、現在30名の隊員で組織されている。

消防・市・各種団体等の式典・諸行事に出演し、消防に対する意識を高め、演奏活動を通じ直接市民に接しながら、防火思想の普及啓発活動を行っている。

平 成 2 1 年 度 活 動 状 況

月 日	出 演 行 事	場 所
平成21年 4月 4日	第3回三舟山&郡ダムお花見ウォーク	三舟の里案内所
平成21年 4月 5日	生涯学習交流センターオープン式典	生涯学習交流センターホール
平成21年12月17日	名誉市民元君津市長故白石光雄氏市民葬	君津市民文化ホール
平成22年 1月10日	君津市消防出初式	君津市民文化ホール
平成22年 3月 9日	君津市常備消防発足40周年記念事業	君津市民文化ホール

楽 器 保 有 状 況

平成22年4月1日現在

楽 器 名	保有数	楽 器 名	保有数	楽 器 名	保有数
ピッコロ	1	ユーホニウム	2	タンバリン	1
フルート	2	トロンボーン	3	カスタネット	2
クラリネット	5	チューバ	2	トライアングル	1
バスクラリネット	1	スーザフォン	2	ベル	1
アルトサクソ	2	ドラムセット	1	ウィンドチャイム	1
テナーサクソ	2	バスドラム	1	カウベル	2
バリトンサクソ	1	マーチングスネア	2	ウッドブロック	1
コルネット	1	ティンパニー	一式	シンバル	2
トランペット	3	マルチタム	1	ボンゴ	一式
フレンチホルン	2	グロッケン	1	ヴィブラスラップ	1
マーチングホルン	2	シロフォン	1	ギロ	1

隊 員 編 成 状 況

平成22年4月1日現在

階 級	消防司令補	消防士長	消防士	合 計
人 員	9名	17名	4名	30名

警 防



出動状況月別一覧表

(件)

合	月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
	火災	7	8	3	1	13		3	6	12	6	1	1	61
計	救助	9	6	2	5	3	1	3	7	1	3	7	9	56
	警戒	2	2	2	4	1	2	5	2	2	6	4	5	37
	その他	2	2	16	18	20	27	22	38	38	21	33	28	265
	合計	20	18	23	28	37	30	33	53	53	36	45	43	419

(件)

本	月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
	火災	3	4	2	1	2		2	3	2	4			23
署	救助	4	2	1	1	1	1	1	1	1	2	2	3	20
	警戒	1	1	2	4		1	4	1		5	3	2	24
	その他	2	1	9	8	16	22	15	22	24	13	16	17	165
	合計	10	8	14	14	19	24	22	27	27	24	21	22	232

(件)

小	月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
	火災	2				3				2		1		8
系分署	救助	2		1	3	1			1			3	3	14
	警戒					1	1		1	1				4
	その他		1	1	3	1	3	2	7	2	1	5	3	29
	合計	4	1	2	6	6	4	2	9	5	1	9	6	55

(件)

上	月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
	火災	1	1	1		5			1	5	2			16
総分署	救助	2	3		1			1	3		1			11
	警戒		1					1				1	1	4
	その他			4	4	1	1	4	6	6	3	7	5	41
	合計	3	5	5	5	6	1	6	10	11	6	8	6	72

松	月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
	火災	1	3			3		1	2	3			1	14
丘分署	救助	2	1			1		1	2			2	3	12
	警戒	1								1	1		2	5
	その他			2	2	2	1	1	3	6	4	5	3	29
	合計	4	4	2	2	6	1	3	7	10	5	7	9	60

- (注) 1. 火災出動とは、火災が発生したとき出動したもの。
 2. 救助出動とは、消防隊が各種災害における人命救助のために出動したもの。
 3. 警戒出動とは、ガス漏洩、危険物の流出等の警戒活動を行うために出動したもの。
 4. その他とは、上記の出動以外に出動したもの。

※ この他に、管轄外の同一災害に出動した出動件数

松丘分署管轄 火災出動7件、救助出動6件、その他5件
 小系分署管轄 火災出動1件

消防隊の平均現着時間及び距離

火 災	件 数	覚知～現着時間（平均）	出動～現着距離（平均）
本 署	23	8分38秒	2.80 Km
小 糸	8	13分00秒	7.60 Km
上 総	16	13分15秒	6.30 Km
松 丘	14	15分21秒	9.30 Km
合計平均		12分16秒	5.80 Km

救 助	件 数	覚知～現着時間（平均）	出動～現着距離（平均）
本 署	20	9分06秒	3.90 Km
小 糸	13	18分00秒	5.80 Km
上 総	11	13分36秒	6.90 Km
松 丘	12	22分45秒	9.40 Km
合計平均		15分00秒	6.10 Km

警 戒	件 数	覚知～現着時間（平均）	出動～現着距離（平均）
本 署	24	9分10秒	3.70 Km
小 糸	4	11分30秒	5.60 Km
上 総	4	14分15秒	8.40 Km
松 丘	5	12分36秒	7.60 Km
合計平均		10分26秒	5.00 Km

偵 察	件 数	覚知～現着時間（平均）	出動～現着距離（平均）
本 署	26	8分32秒	2.50 Km
小 糸	2	8分30秒	3.60 Km
上 総	2	9分30秒	2.80 Km
松 丘	3	17分20秒	11.90 Km
合計平均		9分24秒	3.50 Km

調 査	件 数	覚知～現着時間（平均）	出動～現着距離（平均）
本 署	9	9分40秒	2.50 Km
小 糸	0		
上 総	4	10分30秒	4.90 Km
松 丘	1	13分00秒	6.20 Km
合計平均		10分09秒	3.50 Km

その他の出動	件 数	覚知～現着時間（平均）	出動～現着距離（平均）
本 署	130	9分07秒	3.10 Km
小 糸	27	15分45秒	6.70 Km
上 総	35	10分14秒	4.10 Km
松 丘	25	12分55秒	5.80 Km
合計平均		10分35秒	4.02 Km

全 体	419	11分18秒	4.59 Km
-----	-----	--------	---------

消防水利の現況

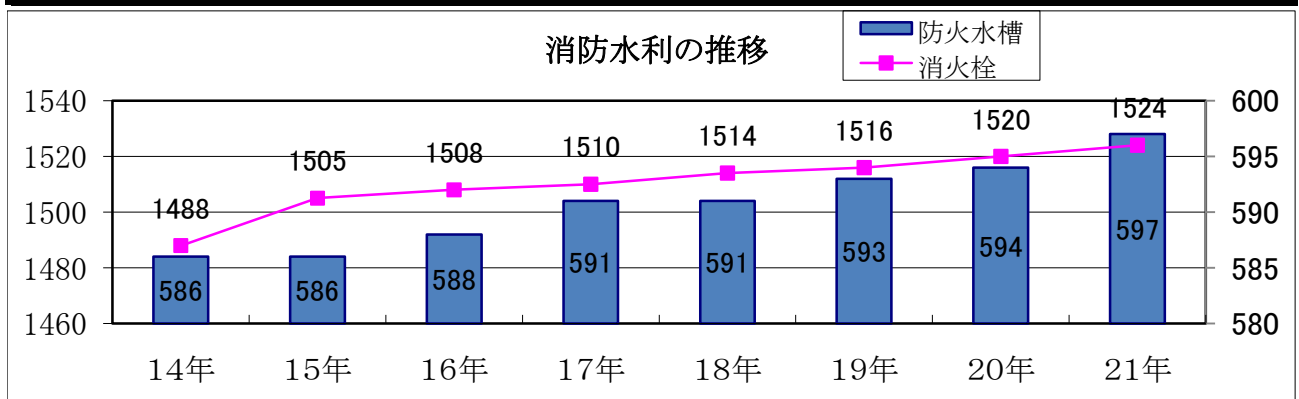
平成22年3月31日現在

区 分 署 別	基 準 以 上 の 水 利					基 準 以 下 の 水 利					無蓋防火 水槽数 (基準以下 含む)
	防 火 水 槽		消 火 栓		その他	防 火 水 槽		消 火 栓		その他	
	公設	私設	公設	私設		公設	私設	公設	私設		
本署管内	149	38	660	78	17	20	3	30		2	70
小糸分署 管内	96	13	149	37	3	54	1	1	3	1	108
上総分署 管内	93	8	282	2	6	15		15	3	1	91
松丘分署 管内	57	18	240	7	8	32	0	17	0	1	68
合 計	395	77	1331	124	34	121	4	63	6	5	337

耐震性公設防火水槽

種 別	設置年月日	設 置 場 所
耐震性100m³ 有 蓋	平 9. 2. 28	台1丁目2 (中野東公園)
	平 9. 6. 24	東坂田3丁目2 (坂田駅前公園)
	平10. 11. 13	久留里市場751 (久留里市場農村公園)
	平11. 11. 1	人見1丁目5 (池田東公園)
	平13. 3. 28	杵師4丁目26 (大道沢北公園)
	平18. 12. 28	杵師1丁目1 (君津中央公園)
	平20. 3. 21	広岡1840 (松丘コミュニティセンター)
耐震性40m³ 有 蓋	平13. 10. 16	北子安5丁目3 (北子安公園)
	平14. 3. 5	戸崎1323-3 (戸崎地先)
	平15. 3. 13	中島718-10 (中島中部自治会館)
	平15. 3. 27	藤林51-10 (上総亀山駅)
	平15. 12. 19	大岩3-1 (大岩青年館)
	平16. 3. 17	中野5丁目12 (中野西公園)
	平16. 3. 31	尾車397-6 (尾車地先)
	平16. 12. 20	中野3丁目15 (大野原公園)
	平17. 3. 17	行馬115-2 (行馬地先)
	平18. 3. 31	外箕輪4丁目24 (サエン田公園)
	平18. 3. 31	八重原172-129 (第2工区内)
	平19. 3. 30	人見4丁目5 (堰下公園)
	平19. 3. 30	鎌滝441 (小糸分署)
	平19. 3. 30	末吉6-7 (コミュニティショップやない)
	平19. 9. 28	郡1丁目9 (塚田公園)
	平20. 2. 29	南子安6丁目19 (馬見塚公園)
	平21. 3. 31	大山野578-4 (大山野地先)
	平22. 3. 31	作木201-3 (グラウンド・ゴルフ場)
	平22. 3. 31	上新田412-19 (上新田地先)

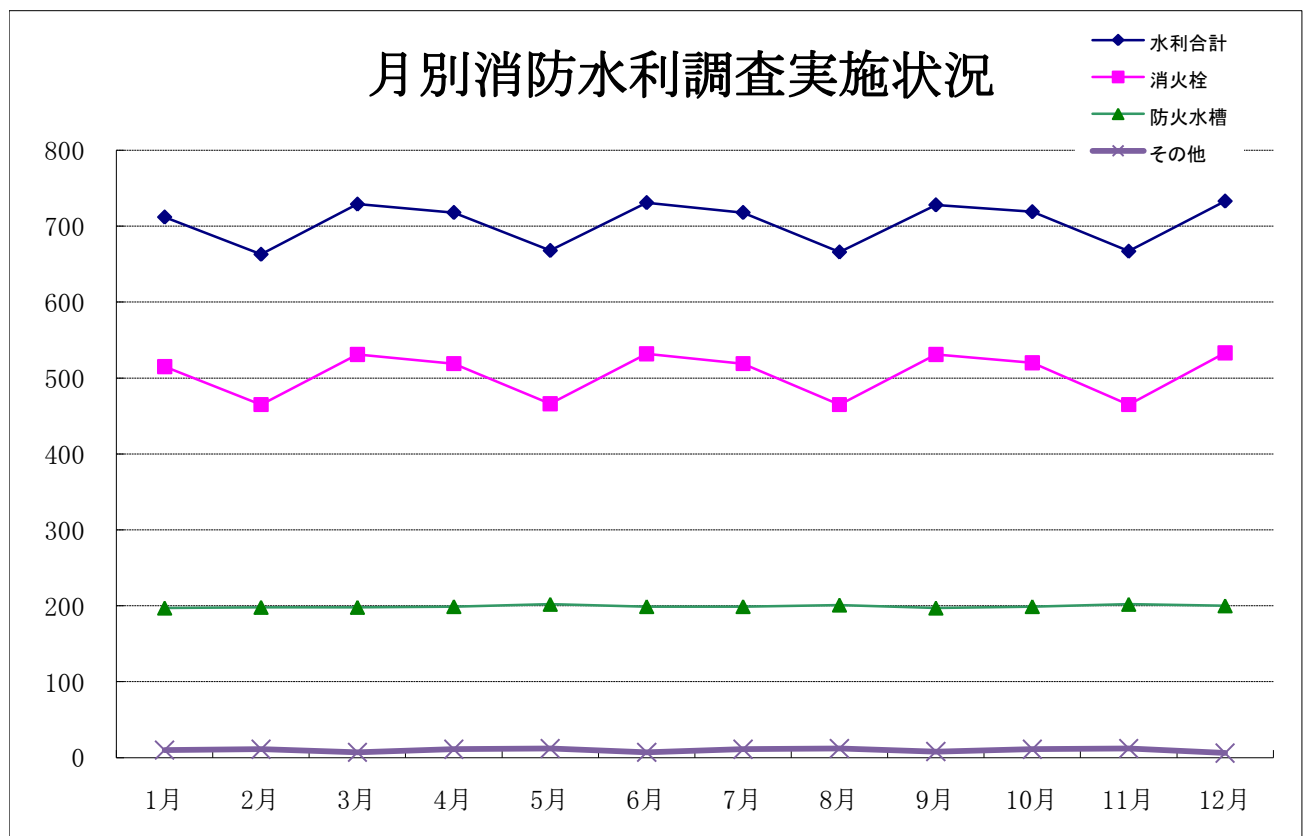
消防水利の推移



消防水利調査月別実施状況

(基)

署別 月	消 火 栓				防 火 水 槽				そ の 他				
	本署	小糸	上総	松丘	本署	小糸	上総	松丘	本署	小糸	上総	松丘	
1月	266	70	91	88	61	63	38	35	1	2	4	3	722
2月	231	53	95	86	83	54	36	25	5	1	1	4	674
3月	250	76	116	89	63	47	41	47	2	1	2	2	736
4月	270	69	91	89	62	64	38	35	2	2	4	3	729
5月	232	53	95	86	88	53	36	25	6	1	1	4	680
6月	250	77	116	89	64	47	41	47	2	1	2	2	738
7月	270	69	91	89	62	64	38	35	2	2	4	3	729
8月	231	53	95	86	87	53	36	25	6	1	1	4	678
9月	249	77	116	89	62	47	41	47	3	1	2	2	736
10月	271	69	91	89	62	64	38	35	2	2	4	3	730
11月	231	53	95	86	88	53	36	25	6	1	1	4	679
12月	251	77	116	89	65	47	41	47	1	1	2	2	739
合計	3,002	796	1,208	1,055	847	656	460	428	38	16	28	36	8,570



寝たきり高齢者調査実績

(人)

署 別	調 査 対 象 者 数	在宅	不在	死亡	移転	入院	拒否	その他	全体
本 署	35	19	5	6	2	2	1		35
小糸分署	10	8	1			1			10
上総分署	11	5	2	3		1			11
松丘分署	9	4		2		3			9
合 計	65	36	8	11	2	7	1		65

寝たきり高齢者調査結果

火 気 使 用 器 具	ガスコンロ	30件	電気ストーブ	8件
	石油コンロ	0件	ガス風呂	15件
	電気コタツ	20件	石油風呂	10件
	ガスストーブ	3件	その他	12件
	石油ストーブ	23件		
火災発生危険の度合	危険性大	0件	危険性少	6件
カーテン・寝具類の防災 処 理 の 状 況	カーテン類防災製品使用	0件	カーテン類未防災製品使用	20件
	寝具類防災製品使用	0件	寝具類未防災製品使用	20件
自火報・非常ベルの 設 置 状 況	自火報設置	12件	自火報未設置	22件
	非常ベル設置	0件	非常ベル未設置	6件
避難の容易の状況	容易	2件	困難	4件
健 康 状 態	良好	3件	不良	35件
かかりつけの病院	有り	38件	無し	0件
緊急時の連絡先	有り	15件	無し	5件
非常時に協力してもら え る 近 隣 者	有り	4件	無し	2件
ホームヘルパー(ボラン テ ィ ア) の 活 動 状 況	訪問有り	4件	訪問無し	2件

一人暮らし高齢者調査実績

(人)

署 別	訪 問 調 査 実 施 数	在宅	不在	死亡	転出	転居	同居	入院	拒否	その他	全体
本 署	388	269	79	6	0	23	0	1	0	10	388
小糸分署	115	88	14	7	0	2	0	2	0	2	115
上総分署	137	114	11	4	0	1	0	4	1	2	137
松丘分署	137	100	17	4	3	3	3	7	0	0	137
合 計	777	571	121	21		29		14	1	14	777

一人暮らし高齢者調査結果

火 気 使 用 器 具	ガスコンロ	541件	電気ストーブ	92件
	石油コンロ	4件	ガス風呂	334件
	電気コタツ	335件	石油風呂	163件
	ガスストーブ	63件	その他	223件
	石油ストーブ	362件		
火災発生危険の度合	危険性大	7件	危険性少	564件
カーテン・寝具類の防 炎 処 理 の 状 況	カーテン類防災製品使用	6件	カーテン類未防災製品使用	565件
	寝具類防災製品使用	0件	寝具類未防災製品使用	571件
自火報・非常ベル の 設 置 状 況	自火報設置	12件	自火報未設置	559件
	非常ベル設置	4件	非常ベル未設置	567件
避難の容易の状況	容易	560件	困難	11件
健 康 状 態	良好	494件	不良	77件
かかりつけの病院	有り	493件	無し	78件
緊急時の連絡先	有り	532件	無し	39件
非常時に協力して もらえる近隣者	有り	447件	無し	124件
ホームヘルパー(ボランティア) の 活 動 状 況	訪問有り	167件	訪問無し	404件

各種訓練実施状況

平成21年4月1日～平成22年3月31日

訓練種別	訓練回数	訓練参加団体数	訓練参加者数
君津市総合防災訓練	1回	40団体	300人
緊急消防援助隊 関東ブロック合同訓練	1回	90団体	957人
石油コンビナート等防災訓練	1回	10団体	124人
東関東自動車道及び新空港自動車 消防協議会合同訓練	1回	10団体	86人
その他の訓練	54回	111団体	3,809人
合計	58回	261団体	5,276人

- (注) 1 その他の訓練には、自主防災組織及び自衛消防隊員を含む。
 2 その他の訓練には、消防職員・団員のみの訓練を含む。
 3 学校等における避難訓練は除く。

消防本部・署への視察・見学状況

平成21年4月1日～平成22年3月31日

見学の種別	見学回数	見学団体数	見学者数
幼稚園児・保育園児	11回	11団体	592人
小・中学生	18回	18団体	805人
社会人	4回	4団体	82人
その他	2回	2団体	55人
合計	35回	35団体	1,534人

- (注) 1 幼稚園児・保育園児及び小学生の中には引率者を含む。
 2 社会人の中には市政モニターを含む。
 3 行政視察等は含んでいない。

重要警備対象物調査

令別表 分類		1 項	2 項	3 項	4 項	5 項	6 項	7 項	8 項	9 項	10 項	11 項	12 項	13 項	14 項	15 項	16 項	17 項	合 計
署別月		イ	ロ	イ	ロ	ハ	イ	ロ	イ	ロ	ハ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ
本 署	1																		
	2																		
	3				1	3													4
	4																		
	5																		
	6																		
	7																		
	8																		
	9																		
	10																		
	11																		
	12																		
小計					1	3													4
小 糸 分 署	1															4			4
	2															5			5
	3																		
	4																		
	5	4																	4
	6	4																	4
	7								4										4
	8							2	1				1						4
	9				2	1										1			4
	10			1		1										2			4
	11																		
	12																		
小計		8		1	2	2		2	5				1			12			33
上 総 分 署	1																		
	2	1						1								2			4
	3																		
	4																		
	5																		
	6	2			2														4
	7	3											1						4
	8	1			2	1													4
	9																		
	10															2			2
	11																		
	12								1		1								2
小計		7			4	1		1	1		1	1				4			20
松 丘 分 署	1								2										2
	2							1											1
	3																		
	4																		
	5																		
	6					1										1			2
	7					2													2
	8						1	1											2
	9	1																	1
	10	2																	2
	11																		
	12																		
小計		3				3	1	1	1	2							1		12
合計		18		2	9	6	2	1	4	6	1		1	2		16	1		69

消防資機（器）材の配置状況

平成22年4月1日現在

所 属 区 分			本署	小糸	上総	松丘	合計	所 属 区 分			本署	小糸	上総	松丘	合計	
放水	消防ホース	4 0 mmホース	40	10	10	10	70	照明器具	発 動 発 電 機			1	1	1	1	4
		5 0 mmホース	123	20	20	26	189		携 帯 用 発 動 発 電 機			6	2	2	2	12
		6 5 mmホース	186	100	100	100	486		携 帯 投 光 器			8	2	2	2	14
水	東 消 式 発 砲 器 具	3 0 0 0 型 放 水 泡	1	1	1		3	保安器具	強 力 充 電 式 ラ イ ト			8	1	3		12
		4 0 0 型 発 砲 ノズル	2				2		空 気 呼 吸 器			11	4	4	7	26
		分 岐 管	2			1	3		耐 熱 防 火 服			5				5
器	分 岐 管	集 水 管	6	3	3	4	16	泡 薬 剤 等	救 命 胴 衣				1	2		3
		集 水 管	1			1	2		防 火 衣			12	10	10	10	42
		ヒ ー ス ト ル 型 シ ャ ッ ト ガ ン	4		2	2	8		蜂 駆 除 防 護 服			2				2
具	フ ォ グ ガ ン	無 反 動 ノズル	4	2	1	2	9	災害対策器具	メ ガ ホ ー ム (K ℓ)			3.0				3
		電 動 ホースカー	8	4	4	6	22		水 成 膜 (k ℓ)			9.02	0.1	0.1	0.1	9.32
		手 引 き ホースカー	1		1		2		泡 原 液 備 蓄 タ ン ク (1 O K ℓ)			1				1
作	梯子	背 負 い 式 散 水 装 置	1	1		1	3	その他	土 の う 袋 (百 枚)			40	8	7	4	59
		ホ ー ス 巻 取 り 機	32	17	17	4	70		オ イ ル フ ェ ン ス (2 O m)			15				15
		折 り た た み	1				1		タフネスオイルブロッカー-BL-F型			3	1	1		5
業	二 連	タフネスオイルブロッカー-BL-65型					2	その他	タフネスオイルブロッカー-BL-65型			7			1	8
		タフネスオイルブロッカー-AB-50型	2	2	1	2	7		タフネスオイルブロッカー-AB-50型				2	1		3
		タフネスオイルブロッカー-BL-A型	2				2		タフネスオイルブロッカー-BL-A型			1				1
器	大型油圧救助器具	油圧救助器具		1	1		2	その他	水 中 ポ ン プ 一 式			1	1		1	3
		チ ル ホ ー ル		1	1	1	3		小 型 動 力 ポ ン プ			2	1	1		4
		弁 慶	1	1	1	2	5		拡 声 器 具			3	2	2	3	10
測	消 火 栓 ・ 水 圧 測 定 器	高 圧 線 接 近 警 報 機	1	1	1	2	5	その他	高 圧 洗 浄 器			1	1			2
		ウ ォ ー キ ン グ メ ジ ャ ー	4	3	2	1	10		林 野 対 策 送 水 装 置 一 式			1				1
		可 燃 性 ガ ス 検 知 器	1	1	1	1	4		半 自 動 式 除 細 動 器 (AED)			2	1	1	1	5
定	ノズル圧力 測 定 器	高 圧 線 接 近 警 報 機	1				1	その他								
		ウ ォ ー キ ン グ メ ジ ャ ー	4	2	2	2	10									
			1	1	1	1	4									
器								その他								

火災



月 別 火 災 発 生 状 況

種 別 \ 月 別		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	計
火 災 件 数	建 物	3	4	1		5		1	4	3	1	2		24
	林 野													
	車 両		1	1	1	1			2		1			7
	そ の 他				1				1		2		1	5
	計	3	5	2	2	6		1	7	3	4	2	1	36
焼 損 棟 数	全 焼	2				1			1	4				8
	半 焼													
	部 分 焼	2	2	1		3			2	1				11
	ぼ や		1			1			1		1	2		6
	計	4	3	1		5			4	5	1	2		25
罹 災 世 帯 数		2	4			4			1		1	2		14
罹 災 者 数		5	11			10			3		5	3		37
死 者		1			1									2
負 傷 者		1				1		1		1		1		5
焼 損 面 積	面積 (㎡)	201	94			138			17	329				779
	表面積 (㎡)	13	27	1					299	2	1	1		344
	林野 (a)													
	車両 (台)		1	1	1	1			2		1			7
	計													
損 害 見 積 額 (千 円)	建 物	5,183	15,848	8		7,908			8,870	29,265	8	6		67,096
	収 容 物	583	2,035	21		1,182		8	474,433	775	476	21	45	479,579
	林 野													
	車 両	578	80	196		1,057			1,446		350			3,707
	そ の 他													
	計	6,344	17,963	225		10,147		8	484,749	30,040	834	27	45	550,382

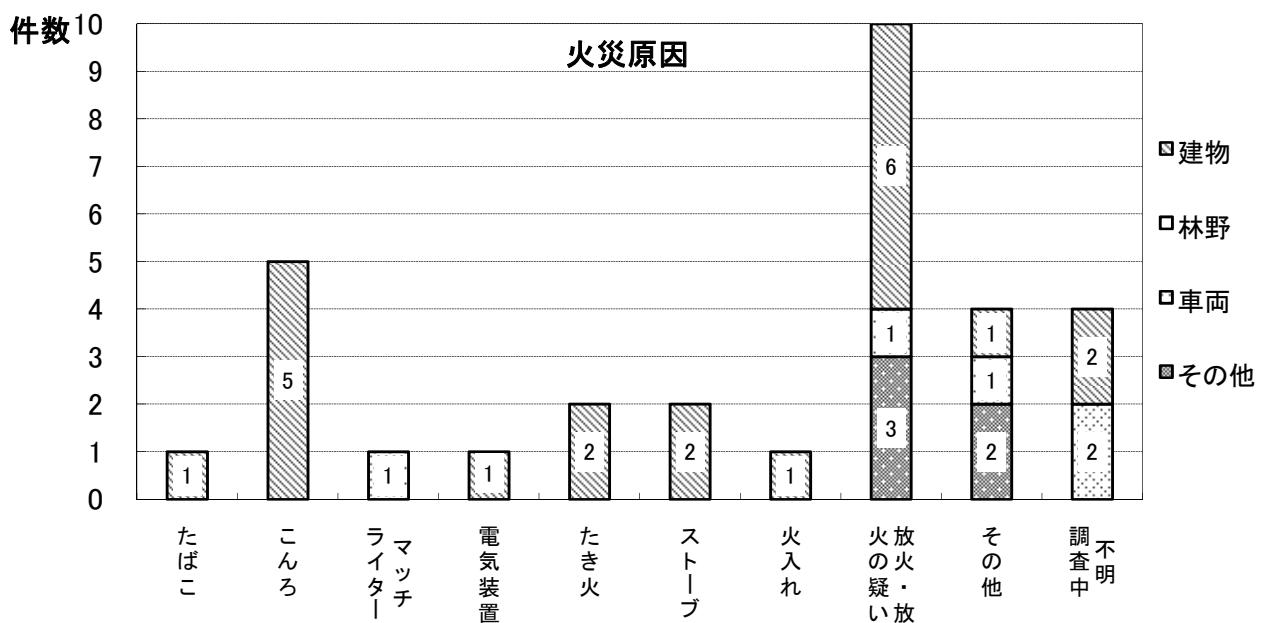
時 間 帯 別 火 災 発 生 件 数

時 刻	0～1	1～2	2～3	3～4	4～5	5～6	6～7	7～8	8～9	9～10	10～11	11～12	12～13
件 数		1				1	1	1	1	2		2	3

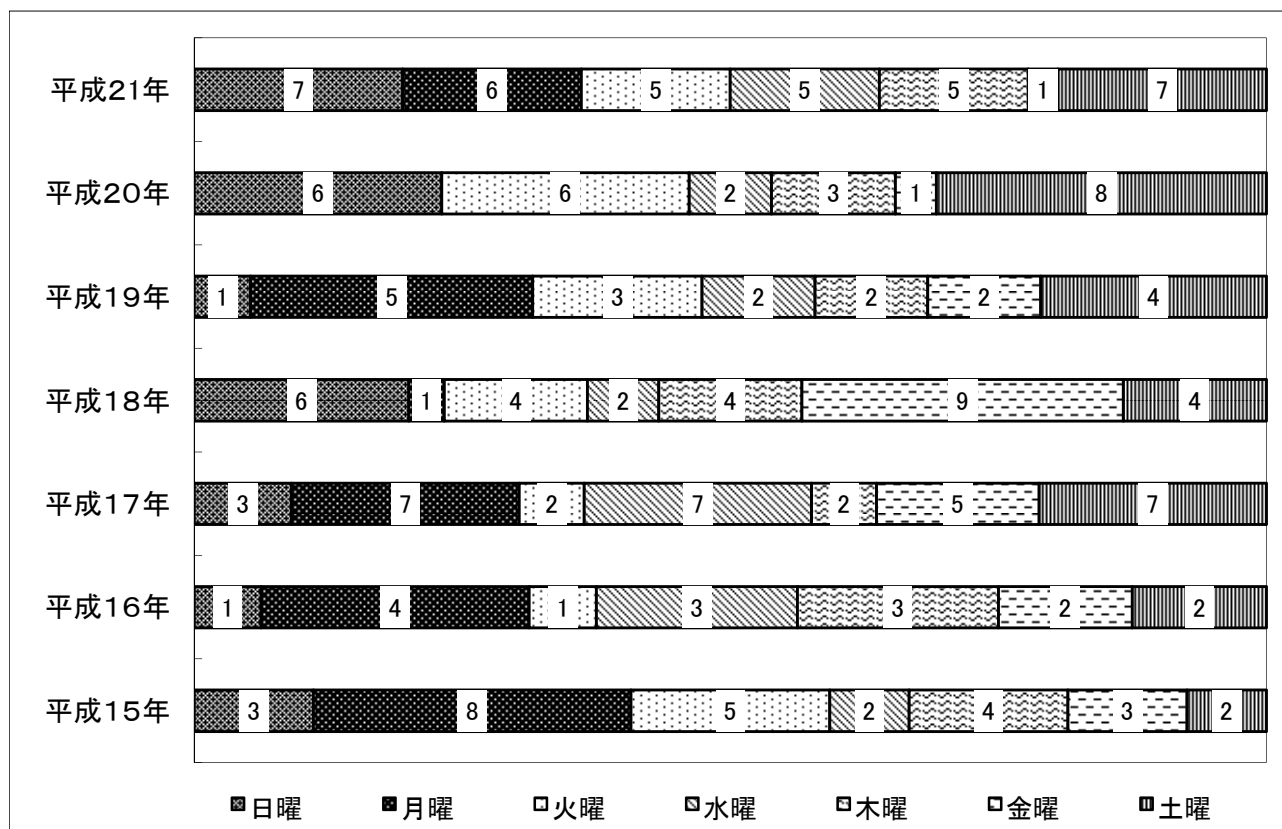
時 刻	13～14	14～15	15～16	16～17	17～18	18～19	19～20	20～21	21～22	22～23	23～24	不明	合計
件 数	2	1	4	3	4	2	3	1	1	1		2	36

火災種別・原因別出火件数

火災種別 原因	建物	林野	車両	その他	計	月 別											
						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
たばこ	1				1					1							
こんろ	5				5	1	1						1			2	
ストーブ	2				2	1	1										
ライター			1		1								1				
電気装置	1				1								1				
電灯・電話等の配線																	
配線器具	1				1					1							
放火	3		1	3	7		2						2		3		
たき火	2				2			1		1							
内燃機器			1		1					1							
溶融金属	1				1		1										
火入れ	1				1								1				
電気機器	1				1					1							
放火の疑い	3				3									3			
衝突の火花																	
灯 火	1				1							1					
煙突・煙道																	
その他	1		1	2	4				2				1				1
不明・調査中	2		2		4	1		1		1					1		
合 計	25		6	5	36	3	5	2	2	6		1	7	3	4	2	1



曜日別火災発生件数の推移

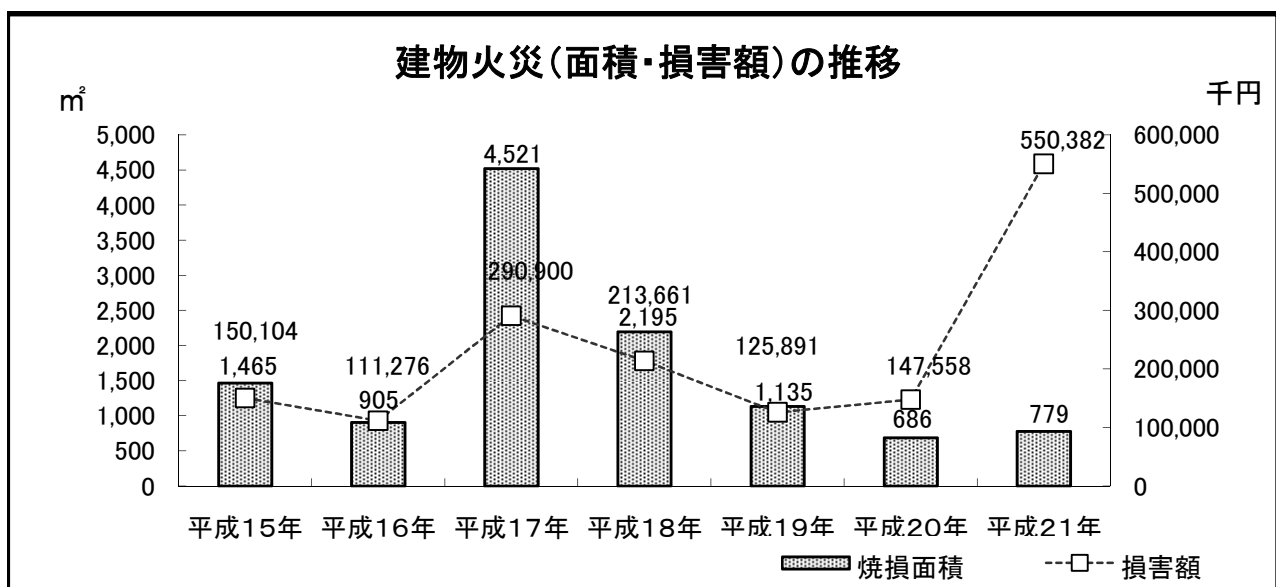


覚知別火災件数

種別 覚知別	火災種別				計	月 別											
	建	林	車	そ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	物	野	両	他		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
火災報知専用電話	20		4	1	25	2	4	3		5		1	3	3	2	1	1
加 入 電 話	3		2	1	6		1		1				3			1	
警 察 電 話																	
駆 け 付 け 通 報																	
事 後 聞 知			1	3	4				1	1					2		
そ の 他	1				1								1				
計	24		7	5	36	2	5	3	2	6		1	7	3	4	2	1

火災発生状況の推移

種別		年別						
		平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
火災件数	建物	19	13	24	25	14	17	24
	林野			1			1	
	車両	3	2	5	1	3	6	7
	その他	5	1	3	4	2	2	5
	計	27	16	33	30	19	26	36
焼損棟数	全焼	15	5	17	11	9	7	8
	半焼	2	4	6	1	2	2	
	部分焼	8	5	7	15	7	7	11
	ぼや	7	3	13	10	4	11	6
	計	32	17	43	37	22	27	25
罹災世帯数		21	22	11	24	10	19	14
罹災者数		52	56	28	58	31	46	37
死者		2	3	2		4	1	2
負傷者		10	3	9	7	2	3	5
焼損面積	面積(㎡)	1,465	905	4,521	2,195	1,135	686	779
	表面積(㎡)	48	10	1	337	78	2,769	344
	林野(a)			61			60	
	車両(台)	4	7	8	6	3	9	7
損害見積額(千円)	建物	87,318	97,510	234,467	137,243	106,722	105,327	67,096
	収容物	56,024	11,678	53,746	73,525	16,096	33,426	479,579
	林野						8	
	車両	4,593	2,088	2,687	2,884	2,993	6,344	3,707
	その他	2,169			9	80	2,453	
	計	150,104	111,276	290,900	213,661	125,891	147,558	550,382



火災種別・原因別出火件数の推移

出火原因 火災種別		たばこ	こんろ	風呂かまど	炉・焼却炉	ストーブ	煙突・煙道	配線器具	電気装置	電灯等配線	火遊び	ライター	たき火	灯火	衝突の火花	火入れ	放火（疑い含む）	その他	不明・調査中	合計
平成15年	建物	3	3	1		1		2		1							6	2		19
	林野																			0
	車両								1						1			1		3
	その他																4	1		5
平成16年	建物	1	5		1			1		2							1	2		13
	林野																			0
	車両																	2		2
	その他																1			1
平成17年	建物	3	5		1			2	3	3		1	1				2	3		24
	林野											1								1
	車両				1							1					1	2		5
	その他																2	1		3
平成18年	建物	1	6			1			2	2		2	2	1			3	4	1	25
	林野																			0
	車両								1											1
	その他			1								2					1			4
平成19年	建物	3	1					2				1	2				5			14
	林野																			0
	車両									1								2		3
	その他											1				1		1		3
平成20年	建物	2	4	1		1			1							2	2		4	17
	林野												1							1
	車両																1	1	4	6
	その他											1	1							2
平成21年	建物	1	5			2		1	1				2		1	1	6	3	2	25
	林野																			0
	車両											1					1	2	2	6
	その他																3	2		5

月別火災発生件数の推移

月 年	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
平成15年	2	2	1	3	4	2		3	2	3	1	4	27
平成16年	2	3	3		1		2		2		1	2	16
平成17年	6	4	1	4	4	1	3	4		2	1	3	33
平成18年	3	3	1	3	6		2	2	1	1	5	3	30
平成19年	2	2	3		1	3	1		2	3		2	19
平成20年	3	4	3		2	2	3	5	2	2			26
平成21年	3	5	2	2	6		1	7	3	4	2	1	36

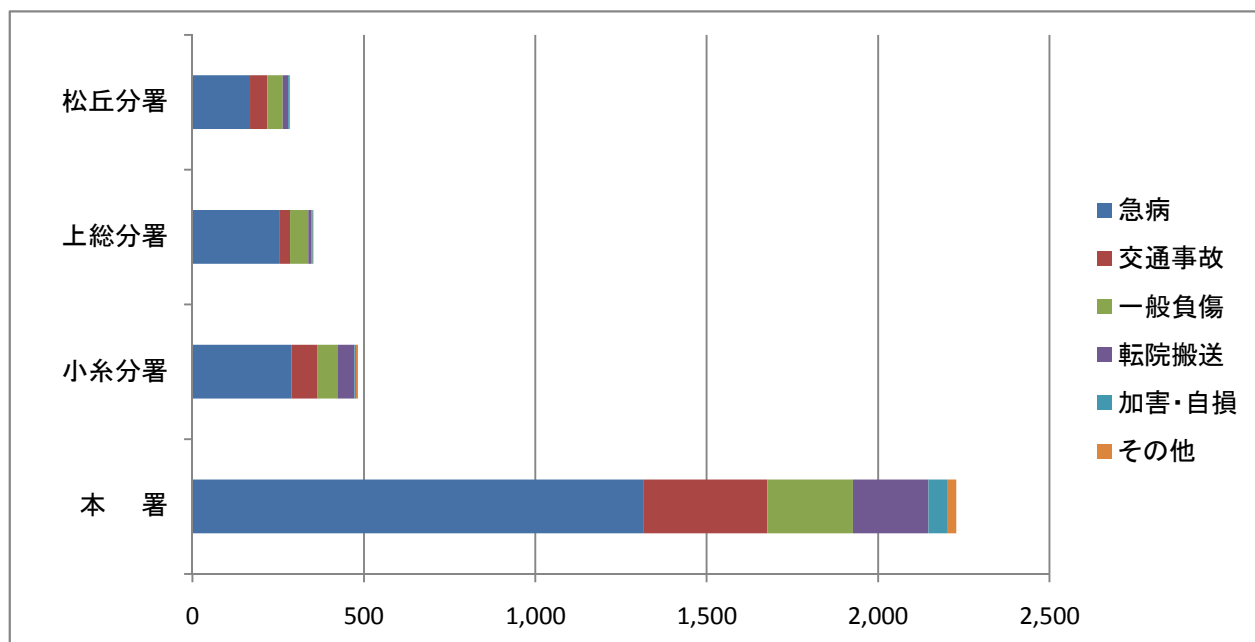
救 急



署別救急活動状況

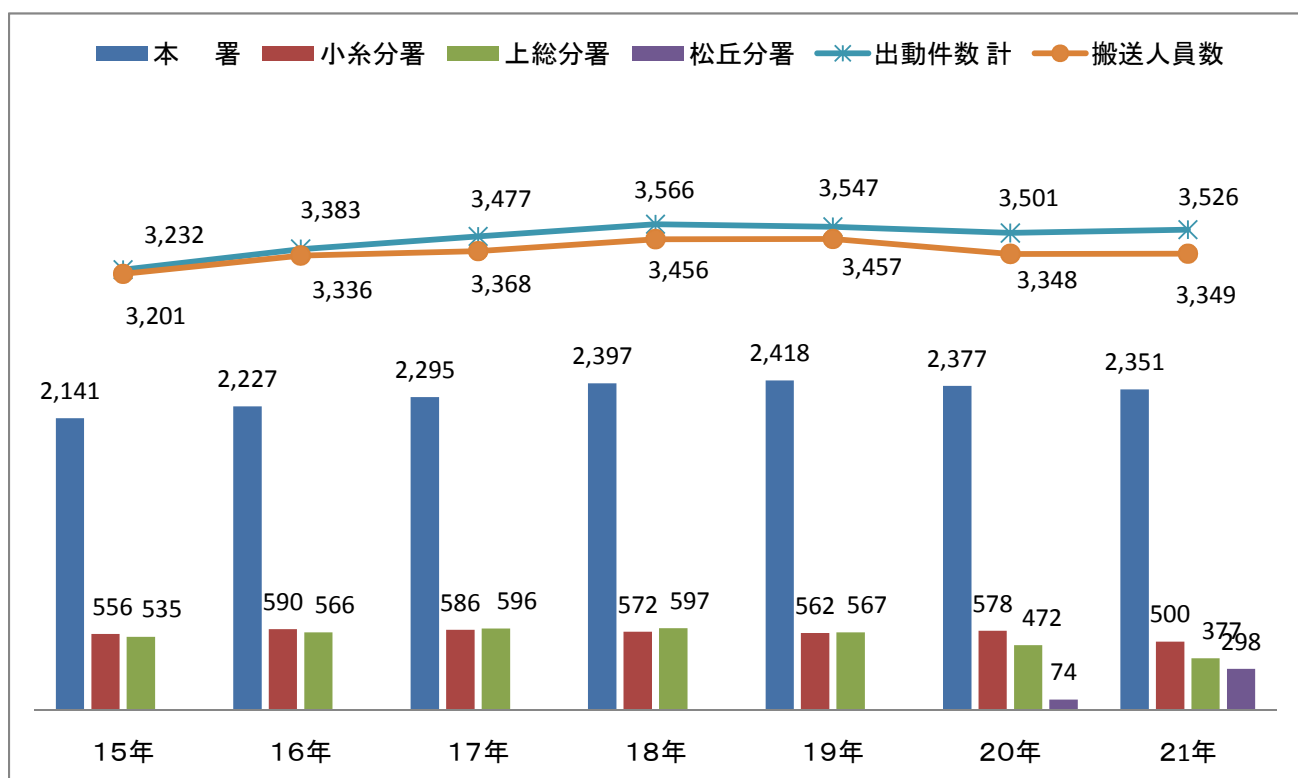
事故種別 署別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害・自損	急病	その他				不搬送	合計
											転院搬送	医師搬送	資器材等	その他		
本署	出動件数	15		1	321	12	8	266	42	30	1,431	222		3	184	2,351
	搬送人員	5			362	12	8	249	32	22	1,315	221		2		2,228
小糸分署	出動件数	5			63	3	1	63	3	6	305	50		1	36	500
	搬送人員	1			76	3	1	58	2	3	289	49		1		483
上総分署	出動件数	2			37	2		56		5	266	9			24	377
	搬送人員				32	2		53		4	253	9				353
松丘分署	出動件数	1			42	2		48	1	7	177	18		2	21	298
	搬送人員				50	2		45	1	2	168	16		1		285
合計	出動件数	23		1	463	19	9	433	46	48	2,179	299		6	265	3,526
	搬送人員	6			520	19	9	405	35	31	2,025	295		4		3,349

署別・事故種別搬送人員



署別救急出動件数及び搬送人員の推移

所 属 \ 年	1 5 年	1 6 年	1 7 年	1 8 年	1 9 年	2 0 年	2 1 年
本 署	2, 141	2, 227	2, 295	2, 397	2, 418	2, 377	2, 351
小糸分署	556	590	586	572	562	578	500
上総分署	535	566	596	597	567	472	377
松丘分署						74	298
出動件数 計	3, 232	3, 383	3, 477	3, 566	3, 547	3, 501	3, 526
搬送人員数	3, 201	3, 336	3, 368	3, 456	3, 457	3, 348	3, 349



傷病程度別搬送人員

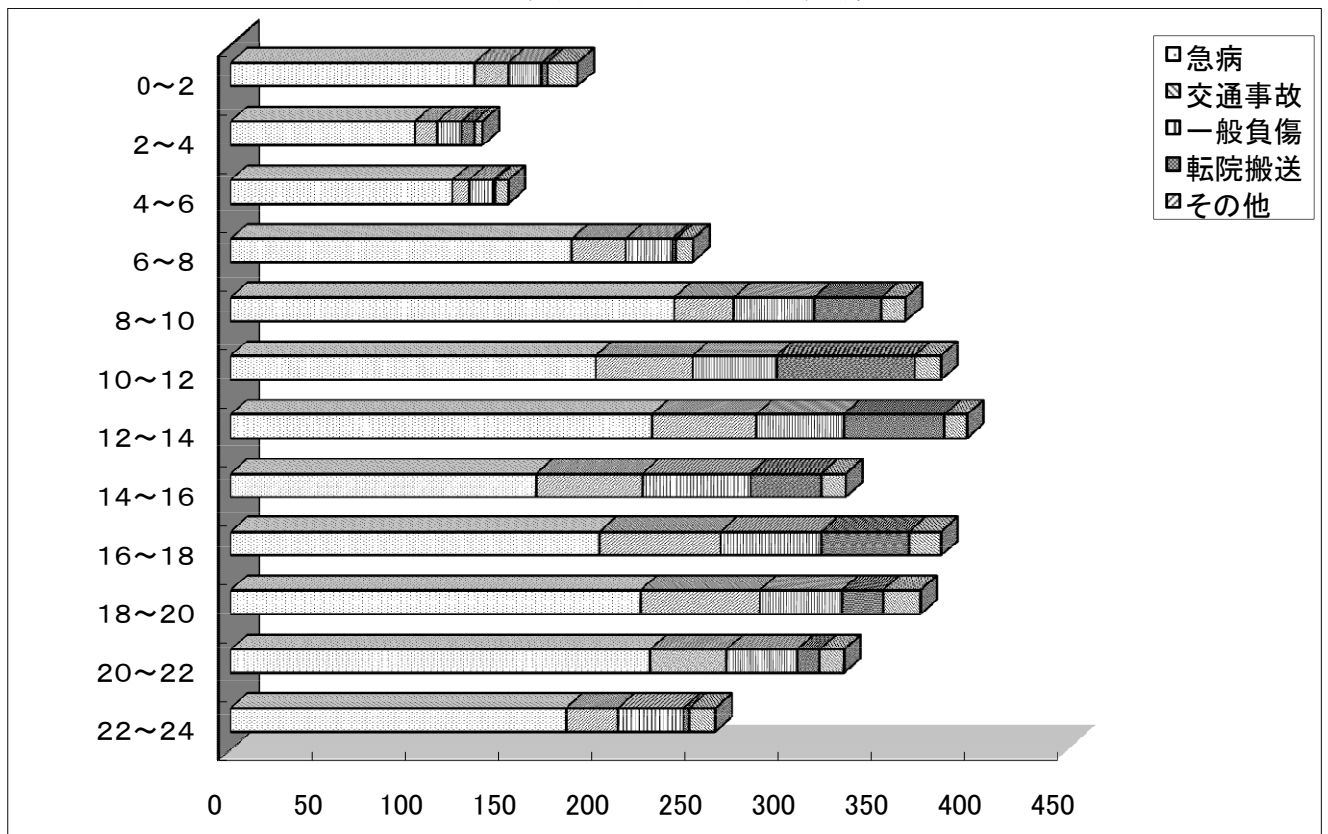
(人)

傷病程度 \ 年齢区分	新生児	乳幼児	少 年	成 人	老 人	合 計
死 亡	0	1	0	14	54	69
重 症	0	0	0	50	115	165
中 等 症	1	9	23	418	694	1, 145
軽 症	1	135	120	999	715	1, 970
合 計	2	145	143	1, 481	1, 578	3, 349

時間帯別救急出動件数

事故種別 時間別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
	災	害	難	故	害	技	傷	害	為	病	転院搬送	医師搬送	資器材等	その他	
0～2	2			18	1		18	10	3	131	3				186
2～4				12			13	2	1	99	7			1	135
4～6	2			9			13	1	4	119	1				149
6～8				29			25	2	7	183	2				248
8～10	1			32	4		43	3	5	239	36				363
10～12	1			52	4	4	45		5	196	74				381
12～14	3			56	3	1	47	1	1	226	54			3	395
14～16	2		1	57	4		58	1	5	163	38				329
16～18	6			65	1	2	54	1	7	198	47				381
18～20	3			64	1	1	44	10	4	220	22			1	370
20～22	2			41		1	38	8	1	225	12			1	329
22～24	1			28	1		35	7	5	180	3				260
合計	23		1	463	19	9	433	46	48	2,179	299			6	3,526

時間帯別救急出動件数



月別救急活動状況

事故種別 月 別		火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他				不 搬 送	合 計
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等	そ の 他		
1 月	出動件数	4		1	33	2		40	4	3	182	41			1	22	311
	搬送人員	2			35	2		37	3	2	170	41					292
2 月	出動件数	2			24	5		32	3	4	161	25			1	20	257
	搬送人員	1			23	5		29	5	2	149	25			1		240
3 月	出動件数	1			28	1	1	27	5	1	209	22				19	295
	搬送人員				32	1	1	26	3	1	195	22					281
4 月	出動件数				52	1	1	29	6	3	159	23			2	14	276
	搬送人員				62	1	1	28	5	1	151	23			2		274
5 月	出動件数	5			35	1		39	4	7	166	22				26	279
	搬送人員	1			36	1		36	3	7	152	22					258
6 月	出動件数				35	1	1	27	1	7	186	25				25	283
	搬送人員				43	1	1	26	1	5	168	24					269
7 月	出動件数	2			37			33	2		174	19				17	267
	搬送人員	1			40			31	1		164	18					255
8 月	出動件数	3			47			41	4	4	188	24				24	311
	搬送人員				51			39	3	3	174	23					293
9 月	出動件数	3			40	2	2	40	4		203	24				22	318
	搬送人員				52	2	2	37	3		191	23					310
10 月	出動件数	2			40	2		44	6	9	193	25				30	321
	搬送人員				43	2		40	4	5	179	25					298
11 月	出動件数	1			43	2	2	42	2	7	172	21			1	23	293
	搬送人員	1			46	2	2	40	2	4	159	21			1		278
12 月	出動件数				49	2	2	39	5	3	186	28			1	23	315
	搬送人員				57	2	2	36	2	1	173	28					301
合 計	出動件数	23		1	463	19	9	433	46	48	2,179	299			6	265	3,526
	搬送人員	6			520	19	9	405	35	31	2,025	295			4		3,349

救急隊員の行った応急処置状況

(件)

区分 事故種別	対象 人員	止 血	固 定	人工 呼吸	心 肺 蘇 生	酸 素 吸 入	気 道 確 保	保 温	被 覆	血 圧 測 定	血 中 酸	心 電 図	そ の 他	合 計
急 病	2,021	3	6	4	68	542	91	51	5	1,900	1,931	866	1,670	7,137
交通事故	514	10	337		1	55	1	7	75	485	485	67	159	1,682
一般負傷	401	20	63		7	38	10	4	105	364	381	50	180	1,222
そ の 他	399	7	21	2	6	163	11	10	28	388	382	171	265	1,454
合 計	3,335	40	427	6	82	798	113	72	213	3,137	3,179	1,154	2,274	11,495

※ 一人の傷病者に2項目以上の応急処置を行った場合もあり、対象人員数と応急処置数は一致しない。

救急資格者数

平成22年4月1日現在(人)

救命士	標準課程	Ⅱ課程	Ⅰ課程	合 計
29	46	30	9	114

救急救命士の行った 救急救命処置内容

(件)

	対象 人員	除 細 動	気 道 確 保	静 脈 確 保	薬 剤 投 与	合 計
急 病	68	10	32	6	4	52
交 通 事 故	1	0	0	0	0	0
一 般 負 傷	7	2	5	4	0	11
そ の 他	6	2	2	4	0	8
合 計	82	14	39	14	4	71

救急救命士の病院研修

(人)

	回 数	研修人員
救急救命養成所入所前研修	1	1
救急救命士就業前研修	1	1
救急救命士就業後研修	1	1

※ 研修場所は君津中央病院

応急手当の普及啓発実施状況

1 普通救命講習

月 別	講 習 回 数	受 講 人 員	備 考
1 月	2	55	
2 月	5	83	
3 月	2	55	
4 月	5	61	
5 月	7	81	
6 月	11	162	
7 月	11	182	
8 月	7	110	
9 月	4	95	
10 月	3	46	
11 月	3	35	
12 月	2	26	
合 計	62	991	
平成7年8月1日から 平成21年12月31日	571	9,295	

※普通救命講習とは、一般市民及び事業所を対象に行う講習時間3時間の講習で、受講者には「普通救命講習修了証」が交付されます。(再講習受講者含む)

2 上級救命講習

講 習 回 数	受 講 人 員	講 習 の 内 容
1	24	心肺蘇生法、AED、止血法、傷病者管理法等の8時間の講習

3 その他の救急講習

講 習 回 数	受 講 人 員	講 習 の 内 容
20	718	心肺蘇生法及び三角巾を使用して応急処置等の講習

救急資器材保有状況

1 配置別救急資器材

平成22年4月1日現在

所属 区分	本 署	上 総	小 糸	松 丘	合 計	所属 区分	本 署	上 総	小 糸	松 丘	合 計
輸液ポンプ	3	1	1		5 基	パルスオキシメーター	3	1	1	1	6 基
点滴スタンド	3	1	1	1	6 本	自動式心マッサージ器	2	1	1		4 器
半自動式除細動器	3	1	1	1	6 基	蘇生用背板	3	1	1		5 個
携帯電話	2	1	1	1	5 基	イーバック+チェアー	1				1 基
ファックス	3	1	1		5 基	レスキューシーザー	3	1	1		5 個
衛星電話	2	1	1		4 基	頸部固定具	18	5	3	14	40 個
心電図電送装置	3	1	1		5 基	血圧計	5	2	2	2	11 個
ショックパンツ	2	1	1		4 式	聴診器	5	3	1	2	11 個
バキュームスプリント	2	1	1		4 基	救急分娩セット	2	2	1	1	6 組
携帯用ECGモニター	3	1	1		5 基	経鼻エアウェイ	3	1	1	1	6 式
人工酸素蘇生器	5	2	2		9 基	経口エアウェイ	3	1	1	1	6 式
食道閉鎖式エアウェイ	2	1	1	1	5 式	ベンチュリーマスク	5	3	3		11 個
輸液セット	3	1	1	1	6 式	手動式人工呼吸器	3	1	1	1	6 器
パラメディックケース	3	1	1	1	6 個	自動式吸引器	5	1	1	1	8 器
救急バッグ	3	1	1	1	6 個	マギール鉗子	4	2	1	2	9 本
心電計（多機能型）	3	1	1	1	6 基	喉頭鏡	3	2	1	2	8 組
体温計（鼓膜型含む）	6	2	2	2	12 個	シーネ（四肢用）	7	6	6	6	25 本
検眼ライト	3	2	1	2	8 本	レスキューセット一式	1	1	1	1	4 式
在宅療法処置セット	3	1	1		5 組	リングカッター	1	1	1	1	4 基
メインストレッチャー	3	1	1	1	6 基	スクープストレッチャー	3	1	1	1	6 基
布担架	4	2	1	2	9 枚	屈折式担架	4	1	1		6 基
レスキューコアマット	2	1	1		4 枚	蓄圧式噴霧消毒器	1	1	1		3 器
ストレッチャー雨覆い	2	1	1	1	5 枚	ホルマリン瓦斯発生消毒機	1	1	1		3 機
速乾性手指乾燥機	1				1 基	E O G滅菌器					0 器
自動手指消毒器	2	2	1		5 器	高圧蒸気滅菌器	1	1	1	1	4 器
高度訓練用人形	2				2 体	卓上型インパルスシーラー	1	1	1	1	4 機
心肺蘇生成人訓練用人形	3	1	1	1	6 体	バッテリーチャージャー	1	1		1	3 基
心肺蘇生小児訓練用人形	1				1 体	スチール製戸棚	1	1	1	1	4 個
心肺蘇生新生児訓練用人形	1				1 体	医療用酸素ボンベ	59	5	5	6	75 本

2 特殊な救急事故用備蓄資器材

平成22年4月1日現在

品 名	数 量	品 名	数 量
応急救護所用テント	4基	消毒用洗面器	4台
災害用担架	12基	止血帯	4本
災害用毛布	30枚	ポリネック（大中小）	10個
救急シート	20枚	呼気吹き込み器	20個
三角巾	126本	トリアージタグ	150枚
救急包帯	27巻	ポアテープ	38個
滅菌ガーゼ	220枚	レスキューサザー（はさみ）	4個
エタノール（500ml）	12本	ビニール袋（大小）	50枚
ヒビテン（500ml）	5本	冷却剤	30個
ディスポグローブ	450枚	災害用酸素吸入装置	2基
副 子（大中小）	25本	救急ケース	4個
防水シート	4枚	ガーゼ	30本

救急隊の平均現着時間及び距離

署 別	件 数	覚知～現着時間（平均）	出動～現着距離（平均）
本 署	2,351	8分	2.76km
小 糸	500	10分22秒	5.78km
上 総	377	8分58秒	3.78km
松 丘	298	11分19秒	6.02km
合 計	3,526	8分40秒	3.58km

※2006年1月からウツタイン様式に伴い、覚知時刻を指令時刻から着信応答時刻に変更があったもの。

救 助



月 別 救 助 出 動 状 況

(件)

種別		月別												合 計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火 災	建 物	3	2	1		1		1	3		1			12
	建 物 以 外					1					1			2
交 通 事 故		3	2	1	4	2	1	2	2	1	3	4	4	29
水 難 事 故		1												1
風水害等自然災害											1			1
機械による事故													1	1
建物等による事故														
ガス及び酸欠事故														
そ の 他 の 事 故		3		1	3	1	4	2	5	4	4	7	5	39
合 計		10	4	3	7	5	5	5	10	5	10	11	10	85

救 助 隊 員 と し て の 資 格 等

平成22年4月1日 現在

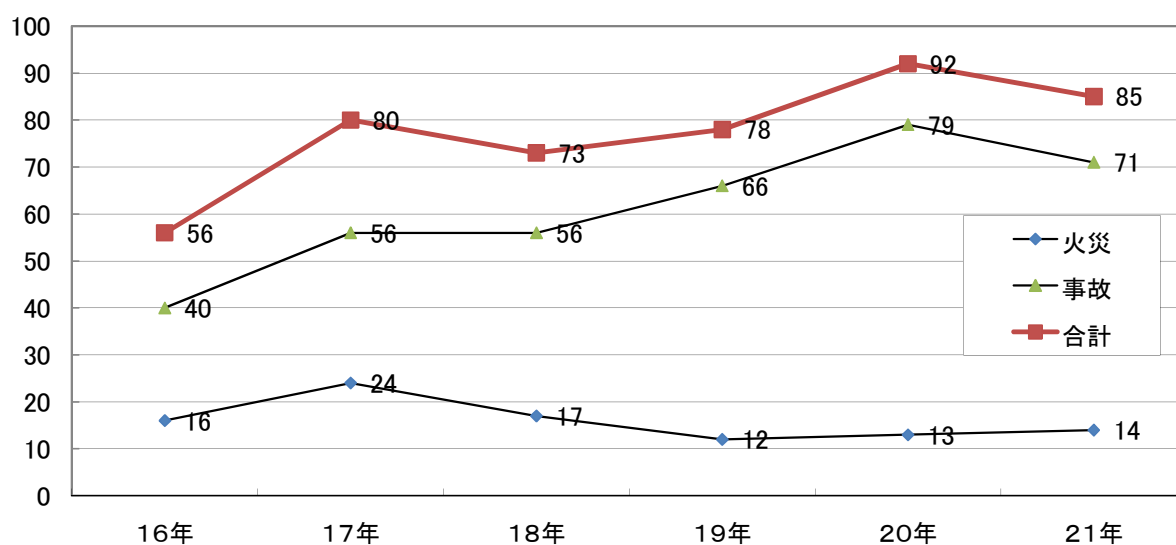
資 格 等	全 職 員 中	救 助 隊 員 中
救助科を終了した者	3 7 名	9 名
特殊災害科を終了した者	2 名	0 名
梯子自動車等講習修了者	2 6 名	8 名
高圧ガス製造保安責任者免状	8 名	1 名
潜水土免許取得者	3 1 名	1 2 名
ダイビング講習受講者	2 5 名	8 名
中級ダイビング講習受講者	5 名	2 名
ドライスーツ講習受講者	1 0 名	2 名
小型移動式クレーン講習	2 6 名	1 0 名
玉掛け作業講習	2 2 名	6 名
ガス溶接技能講習	9 名	1 名
小型船舶操縦士免許	1 7 名	5 名

救助活動状況の推移

(件・人)

事故種別 年 活動状況		火 災		交通 事故	水 難 事 故	風 自 水 然 害 災 等 害	機 よ 械 る 等 事 に 故	建 よ る 物 等 事 に 故	ガ 酸 ス 欠 及 事 び 故	その の 事 他 故	計
		建 物	建 物 以 外								
平成 16 年	出 動 件 数	10	6	24	5	2		2		7	56
	活 動 件 数	1		16	1	2		1		6	27
	救 出 人 員	3		19		8		1		6	37
平成 17 年	出 動 件 数	16	8	31	3	1	3	1		17	80
	活 動 件 数	1		15			3			12	31
	救 出 人 員			19			3			12	34
平成 18 年	出 動 件 数	16	1	31	1	4	2	2		16	73
	活 動 件 数			19	1	4		1		6	31
	救 出 人 員			25	1	3		1		10	40
平成 19 年	出 動 件 数	8	4	27		2		2		35	78
	活 動 件 数			10			1	1		5	17
	救 出 人 員			14			1	1		6	22
平成 20 年	出 動 件 数	12	1	37	5		2	1	1	33	92
	活 動 件 数	5		28	4		1			25	63
	救 出 人 員	2		33	4		1			21	61
平成 21 年	出 動 件 数	12	2	29	1	1	1			39	85
	活 動 件 数	6		29	1		1			24	61
	救 出 人 員	1		37	1		1			24	64

救助出動件数の推移



救 助 用 資 器 材 の 整 備 状 況

品 名	数 量	品 名	数 量
鍵 付 き 梯 子	2 梯	防 塵 マ ス ク	1 9 器
三 連 梯 子	1 梯	送 排 風 機	1 機
金属製折りたたみ梯子又はワイヤー梯子	1 梯	耐 電 手 袋	7 双
空 気 式 救 助 マ ッ ト	1 組	耐 電 衣	6 着
救命索発射銃	2 丁	耐 電 ズ ボ ン	6 着
サーバイバーリング又は救助用縛帯	8 帯	耐 電 長 靴	6 足
可 搬 式 ウ ィ ン チ	4 機	防 塵 メ ガ ネ	1 4 個
マ ン ホ ール 救 助 器 具	1 器	携 帯 警 報 機	5 機
マ ッ ト 型 空 気 ジ ャ ッ キ	1 組	防 毒 マ ス ク	5 器
大 型 油 圧 ス プ レ ッ ダ ー	2 器	放 射 線 防 護 服	2 着
チェ ー ン ブ ロ ッ ク	1 器	潜 水 器 具	8 器
油 圧 切 断 機	1 機	救 命 胴 衣	1 4 着
エ ン ジ ン カ ッ タ ー	1 機	水 中 投 光 器	1 器
ガ ス 溶 断 機	1 機	救 命 浮 環	8 器
チェ ー ン ソ ー	1 機	救 命 ボ ー ト	1 隻
鉄 線 カ ッ タ ー	4 器	船 外 機	1 機
空 気 鋸	1 機	水 中 ス ク ー タ ー	1 機
大 型 油 圧 切 断 機	2 機	水 中 無 線 機	1 機
空 気 切 断 機	1 組	水 中 時 計	5 個
コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	1 機	バ ス ケ ッ ト 型 担 架	1 器
万 能 斧	3 丁	簡 易 画 像 探 索 機	1 機
ハ ン マ ー	1 丁	投 光 器	1 器
携 帯 用 コ ン ク リ ー ト 破 壊 器 具	1 器	携 帯 投 光 器	4 器
削 岩 機	1 機	携 帯 拡 声 器	5 器
ハ ン マ ー ド リ ル	1 機	携 帯 無 線 機	5 機
可燃性ガス・有毒ガス・酸素濃度測定器	1 器	応 急 処 置 用 セ ッ ト	1 組
放 射 線 測 定 器	1 器	車 両 移 動 器 具	1 器
空 気 呼 吸 器	1 0 器	緩 降 機	2 機
酸 素 呼 吸 器	2 器	ロ ー プ 登 降 機	1 機
簡 易 呼 吸 器	6 器	発 電 機	3 機
化 学 防 護 服	4 着	有 毒 ガ ス 測 定 器	1 式
除 染 シ ャ ワ ー	1 式	生 物 剤 検 知 器	1 式
除 染 散 布 器	1 器	空 気 補 充 用 ボ ン ベ	4 本

各種訓練実施状況

救助隊員として必要な技術、体力、気力を養成するために年間を通じて各種訓練を実施している。

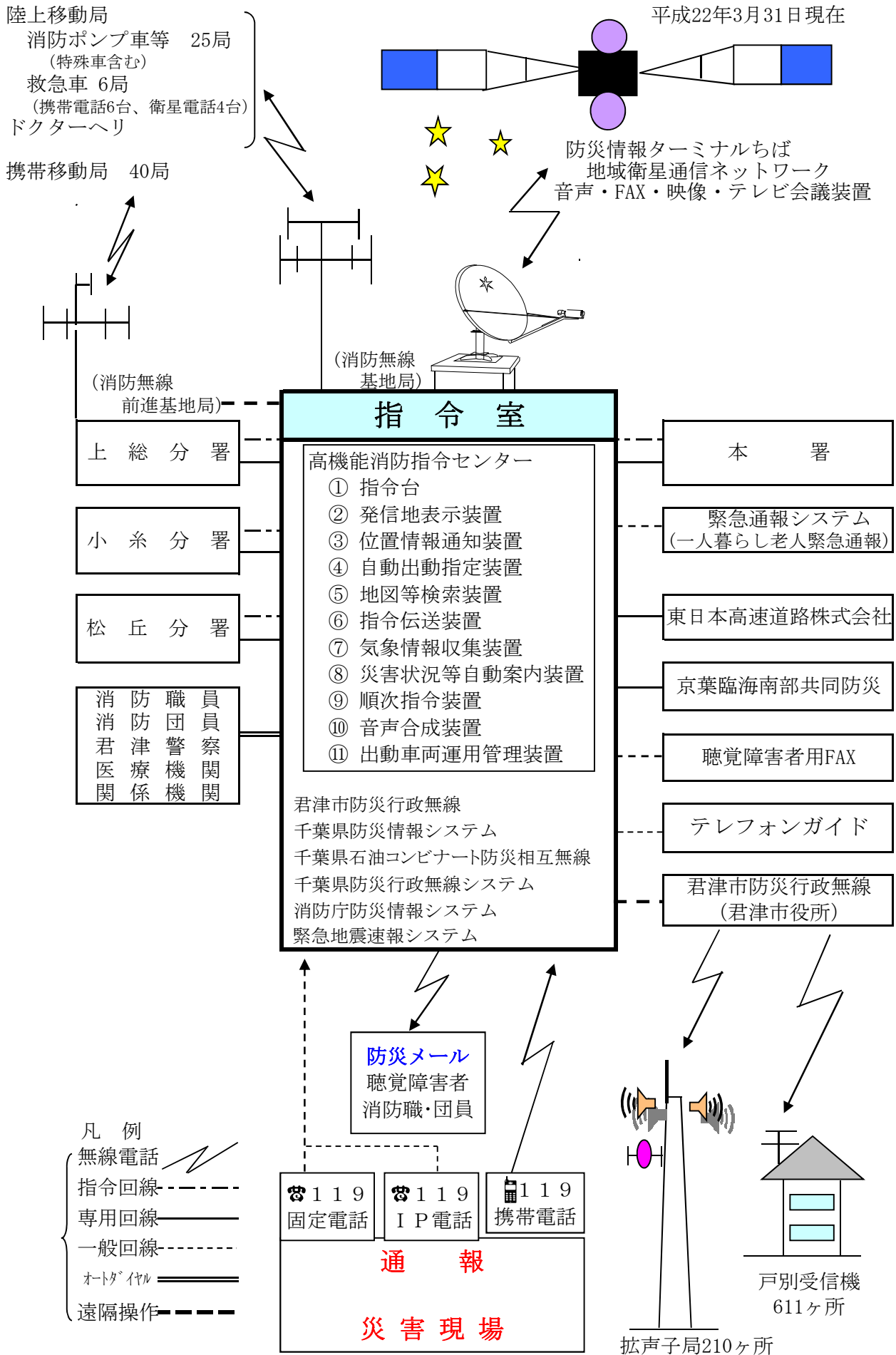
訓練の種類別	訓練実施回数	訓練場所等
総合防災訓練等	4	警察合同・石コン訓練・市総合訓練・東関道訓練
水難救助訓練	4	千葉県消防学校・亀山ダム
体力錬成訓練	68	消防署訓練塔
ロープ基本・応用訓練	178	
検索・救助訓練	27	
各種救助器具取扱訓練	81	
各種救助事象想定訓練	133	
合 計	495	

通信指令



消防通信施設系統図

平成22年3月31日現在



消 防 用 無 線 局 配 置 状 況

きみつしょうぼう 基地局・前進基地局（2局・10W）
市内共通波（150.75MHz）救急波（複信・送信142.08MHz 受信146.08MHz）
県内共通波（152.81MHz）全国共通波 1・2・3（150.73MHz・148.75MHz・154.15MHz）

陸上移動局（車載用）無線機 10W・31台
陸上移動局（携帯用）無線機 1W・25台、5W・15台

【 移動局無線機一覧・AVM装着状況 】

番号	識別信号	積載車両名	配置場所	空中線電	周波数	※AVM装着
1	きみつしれい1	消防長車	総務課	10W	市・県・全1	
2	きみつしれい2	指揮車	本 署	10W	市・県・全1-3	○
3	きみつれんらく1	連絡1号車	総務課	10W	市・県・全1	
4	きみつれんらく2	連絡2号車	総務課	10W	市・県・全1	
5	きみつれんらく3	連絡3号車	本 署	10W	市・県・全1-3	
6	きみつれんらく4	連絡4号車	松 丘	10W	市・県・全1-3	
7	きみつささつ1	査察1号車	予防課	10W	市・県	
8	きみつささつ2	査察2号車	予防課	10W	市・県・全1	
9	きみつこうほう1	広報車	予防課	10W	市・県・全1-3	
10	きみつこうほう2	人員搬送車	総務課	10W	市・県	
11	きみつ1	普通1号車	本 署	10W	市・県・全1-3	○
12	きみつ2	普通2号車	上 総	10W	市・県・全1-3	○
13	きみつ3	普通3号車	小 糸	10W	市・県・全1	○
14	きみつ4	普通4号車	本 署	10W	市・県・全1-3	○
15	きみつ5	資機材搬送車	総務課	10W	市・県・全1-3	
16	きみつ6	普通6号車	本 署	10W	市・県・全1-3	
17	きみつ7	普通7号車	松 丘	10W	市・県・全1-3	○
18	きみつ8	普通8号車	松 丘	10W	市・県・全1-3	○
19	きみつかがく1	化学1号車	本 署	10W	市・県・全1	○
20	きみつかがく2	泡原液搬送車	本 署	10W	市・県・全1	○
21	きみつはしご1	梯子車	本 署	10W	市・県・全1	○
22	きみつはしご2	高所放水車	本 署	10W	市・県・全1	○
23	きみつきゅうじょ1	救助工作車	本 署	10W	市・県・全1-3	○
24	きみつせきさい1	積載1号車	上 総	10W	市・県	○
25	きみつせきさい2	積載2号車	小 糸	10W	市・県・全1	○
26	きゅうきゅうきみつ1	高救急1号車	松 丘	10W	市・県・全1-3・救	○
27	きゅうきゅうきみつ2	高救急2号車	本 署	10W	市・県・全1-3・救	○
28	きゅうきゅうきみつ3	高救急3号車	小 糸	10W	市・県・全1-3・救	○
29	きゅうきゅうきみつ4	高救急4号車	上 総	10W	市・県・全1-3・救	○
30	きゅうきゅうきみつ5	高救急5号車	本 署	10W	市・県・全1-3・救	○
31	きゅうきゅうきみつ6	高救急6号車	本 署	10W	市・県・全1-3・救	○

※AVM(車両端末運用装置)を消防車に装着し指令台の画面に消防車の位置を表示、運用管理しています。

覚 知 別 受 付 状 況

(件)

受付状況		災 害 受 付						そ の 他 の 受 付						合計
受付方法		火災	救急	救助	警戒	偵察	その他	案内	悪戯	誤報	同報	試験	その他	
119番	一般	14	1,497	11	16	5	85	454	44	24	69	767	305	3,291
	携帯	17	817	14	4	8	48	611	15	18	79	110	238	1,979
	I P	4	599	8	3	2	30	273	6	6	18	302	85	1,336
加入電話		5	598	18	50	18	65	1,643	0	0	1	1	1	2,400
駆け付け		0	55	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	57
その他		3	75	7	9	0	27	0	0	0	0	1	0	122
合計		43	3,641	58	83	33	256	2,981	65	48	167	1,181	629	9,185

※ 受付方法の「その他」は、自己覚知・消防無線・ホットライン等が含まれている。

※ 災害受付の「その他」は、消防隊が出動した救助・救急事案等の災害が含まれている。

※ その他の受付の「その他」は、119番受付訓練や各種出動訓練等が含まれている。

月 別 受 付 状 況

(件)

事案 月	災 害 受 付						そ の 他 の 受 付						月計
	火災	救急	救助	警戒	偵察	その他	案内	悪戯	誤報	同報	試験	その他	
1 月	7	312	9	2	1	2	294	2	5	4	103	55	796
2 月	7	279	6	2	1	4	187	4	3	10	83	42	628
3 月	2	409	2	6	1	15	172	8	7	24	475	39	1,160
4 月	1	278	7	8	2	17	178	6	5	16	108	28	654
5 月	9	273	2	2	2	19	289	4	1	8	52	42	703
6 月	0	281	1	3	2	26	181	4	4	6	45	40	593
7 月	2	266	2	10	5	21	209	4	4	11	86	54	674
8 月	3	305	5	10	5	36	247	14	5	19	38	57	744
9 月	8	320	3	15	6	37	273	9	1	15	53	71	811
1 0 月	4	319	3	14	3	19	328	2	2	18	54	67	833
1 1 月	0	296	8	6	1	33	325	7	9	24	37	63	809
1 2 月	0	303	10	5	4	27	298	1	2	12	47	71	780
合計	43	3,641	58	83	33	256	2,981	65	48	167	1,181	629	9,185

テレフォンガイド利用状況

(件)

区分 月別	災害		気象		広報		月計	
	件数	利用件数	件数	利用件数	件数	利用件数	件数	利用件数
1 月	25	960			6	135	31	1,095
2 月	20	897					20	897
3 月	22	884	2	13	3	53	27	950
4 月	29	574	1	3	2	17	32	594
5 月	40	2,262			6	167	46	2,429
6 月	31	600			5	131	36	731
7 月	32	779			21	261	53	1,040
8 月	48	2,057	8	176	10	173	66	2,406
9 月	53	1,602			2	39	55	1,641
1 0 月	42	1,460	4	121	11	546	57	2,127
1 1 月	45	1,088			8	343	53	1,431
1 2 月	41	1,244			8	264	49	1,508
合計	428	14,407	15	313	82	2,129	525	16,849

出 動 指 令 状 況

区分 月別	消防隊								救急隊	救助隊	(件)
	火 災				偵察	警戒	応援	その他	救 急	救 助	合 計
	第一次	第二次 以上	石油コン ビナート	計							
1 月	4	3	0	7	1	2	0	10	311	10	341
2 月	6	2	0	8	1	2	0	7	257	4	279
3 月	2	1	0	3	1	2	0	17	295	3	321
4 月	1	0	0	1	2	4	0	21	276	7	311
5 月	4	9	0	13	2	1	0	21	279	5	321
6 月	0	0	0	0	2	2	0	26	283	5	318
7 月	1	2	0	3	5	5	0	20	267	5	305
8 月	3	2	1	6	5	2	0	40	311	10	374
9 月	6	6	0	12	6	2	0	33	318	5	376
10 月	5	1	0	6	3	6	0	21	321	10	367
11 月	1	0	0	1	1	4	0	41	293	11	351
12 月	1	0	0	1	4	5	0	33	315	10	368
合 計	34	26	1	61	33	37	0	290	3,526	85	4,032
管 轄 区 域 別											
本 署	11	11	1	23	26	24	0	162	2,351	58	2,667
小糸分署	5	3	0	8	2	4	0	41	500	12	575
上総分署	10	6	0	16	2	4	0	49	377	4	468
松丘分署	8	6	0	14	3	5	0	38	298	11	383
合 計	34	26	1	61	33	37	0	290	3,526	85	4,032

※ 「その他」には、区分に含まれない事案で消防隊等が救助・救急・調査出動したものが含まれている。

気象警報・注意報発表等状況

(回)

月別 種別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
火災警報														
気象 警 報	暴 風			1					1		1			3
	大 雨								3		1			4
	波 浪			1							1			2
	洪 水								3					3
	暴風雪													
気象 注 意 報	強 風	11	8	11	6	9	4	9	3	1	5	6	10	83
	波 浪	11	7	11	6	9	4	9	3	2	5	6	10	83
	大 雨	1			2	3	5	2	4	1	2	3	2	25
	大 雪							9						9
	雷	2	2	5	3	4	9	9	5	5	3	4	4	55
	乾 燥	4	5	5	3	2							4	23
	洪 水	1			2	3	5	2	4	1	2	2	2	24
	その他	3	7	7	11	7	14	12	4	2	5	11	7	90
合 計		33	29	41	33	37	41	52	30	12	25	32	39	404

君津市防災行政無線運用状況（消防本部操作分）

(回)

月別 内容		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
消防情報		14	10	4	2	14		2	6	16	8			76
気象情報				2					5		2			9
地震情報														
公害情報														
その他		5		3	3	6	4	19	7	2	10	7	8	74
合計		19	10	9	5	20	4	21	18	18	20	7	8	159

天気日・降雨日数と降雨量の推移

平成(日数) 天気	12年 (366)	13年 (365)	14年 (365)	15年 (365)	16年 (366)	17年 (365)	18年 (365)	19年 (365)	20年 (366)	21年 (365)	平 均
快 晴	30	48	16	15	10	5	8	21	16	1	17
晴	179	165	179	165	199	194	160	182	188	183	179
曇	120	111	123	137	114	134	143	124	110	138	125
雨	37	40	47	47	41	31	53	38	50	42	43
雪	0	1	0	0	1	1	1	0	1	1	1
その他	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0
降雨日数	117	106	123	136	111	102	118	109	119	116	116
降雨量(mm)	1,443.5	1,476.5	1,471.0	1,828.5	1,843.0	1,319.5	1,794.5	1,326.5	1,588.0	1,740.0	1,583.1

気象状況

区分 月	気温℃			平均 湿度 %	平均 風速 m/s	最多 風向	降 雨 量	天 気 日 数						火 災 警 報
	最 高	最 低	平 均					快 晴	晴	曇	雨	雪	そ の 他	
1月	15.9	-3.9	6.3	65.7	2.7	北	158.0	0	19	8	4	0	0	0
2月	23.8	-2.1	7.7	63.2	3.0	北	71.5	0	15	10	3	0	0	0
3月	21.7	0.0	9.9	62.5	3.6	北北東	114.0	1	14	12	3	1	0	0
4月	28.6	1.6	15.6	64.5	3.2	南東	81.0	0	22	4	4	0	0	0
5月	33.0	11.1	20.0	70.6	3.7	南西	204.0	0	14	12	5	0	0	0
6月	33.1	12.9	22.4	76.8	2.7	南西	190.0	0	8	19	3	0	0	0
7月	35.2	19.9	25.9	78.2	4.6	南西	71.5	0	9	21	1	0	0	0
8月	35.4	18.1	26.2	75.3	2.7	東	240.0	0	19	9	3	0	0	0
9月	32.4	15.9	22.2	74.2	2.5	北東	39.5	0	17	11	2	0	0	0
10月	26.9	9.6	17.9	77.0	2.7	南東	272.5	0	14	11	6	0	0	0
11月	24.7	3.3	12.8	78.3	2.6	北北東	183.0	0	14	11	5	0	0	0
12月	17.2	-2.0	8.3	68.2	2.7	南東	115.0	0	18	10	3	0	0	0
計							1,740.0	1	183	138	42	1	0	0
平均	27.3	7.0	16.3	71.2	3.1									

※ 天気日は午前中の天気を集計したもの。 ※ 2/24～2/28、改修工事に伴う装置取り外しによりデータ無。

